

293
別庫
16

Ⓜ

長崎高等商業學校一覽

自明治廿九年四月
至廿四年三月

048931-001-1

293-16

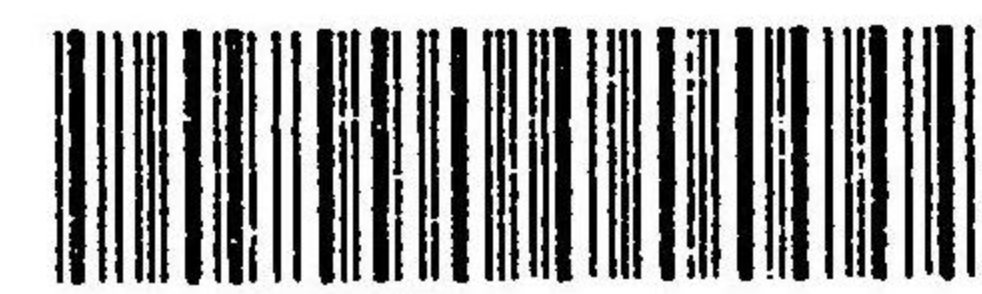
長崎高等商業學校一覽

明治39, 41-45年

長崎高等商業學校

M39-45

BEJ-0727



293
16

長崎高等商業學校一覽

從明治三十九年四月
至明治四十年三月

長崎高等商業學校一覽目次

學年曆

沿革略

本校ニ關スル法令

第一

文部省直轄學校官制

第二

文部省直轄學校職員定員令

第三

帝國大學及文部省直轄諸學校雇外國人使用方

第四

專門學校令

第五

實業學校令

第六

專門學校入學者檢定規定

第七

文部省直轄學校外國人特別入學規程

諸規則

明治
39 6 29
内交

校規

- 第一款 長崎高等商業學校規則
- 第二款 長崎高等商業學校外國人特別入學規程細則
- 第三款 長崎高等商業學校物品會計施行細則
- 細則
- 第一款 生徒心得
- 第二款 生徒服裝規程
- 第三款 職員服務心得
- 第四款 校務分掌規程
- 第五款 學級擔任規程
- 第六款 校外視察規程
- 第七款 學年次諸學科成績考查ニ關スル細則
- 第八款 宿直規程

- 第九款 巡視心得
- 第十款 小使心得
- 職員
- 生徒
- 敷地及建物
- 附錄
- 長崎高等商業學校學友會則

八月一日(水曜日)	夏季休業日始
全 三十一日(金曜日)	夏季休業日終
九月一日(土曜日)	秋學期始
全 二十四日(月曜日)	休業日(秋季皇靈祭)
十月十七日(水曜日)	休業日(神嘗祭)
十一月三日(土曜日)	拜賀式(天長節)
十一月二十三日(金曜日)	休業日(新嘗祭)
十二月二十日(木曜日)	秋學期試驗始
全 二十四日(月曜日)	秋學期終
全 二十五日(火曜日)	冬季休業日始
明治四十年	冬季休業日終
一月七日(月曜日)	冬學期始
全 八日(火曜日)	

全 三十日(水曜日)	休業日(孝明天皇祭)
二月十一日(月曜日)	拜賀式(紀元節)
三月二十日(水曜日)	學年及學期試驗始
三月二十一日(木曜日)	休業日(春季皇靈祭)
三月三十一日(日曜日)	冬學期終

沿革略

本校ハ明治三十八年三月二十八日勅令第九十六號ニ據リ設置セララル
 全日勅令第九十七號ヲ以テ本校職員ノ定員ヲ定メラル
 四月二十五日東京高等商業學校教授隈本有尙學校長ニ任セララル
 六月六日日本校規則ヲ制定ス
 六月八日文部省告示第百五號ヲ以テ本校ノ位置ヲ長崎縣西彼杵郡上
 長崎村ト定メラル
 全日文部省令第八號ヲ以テ本校ノ修業年限學科目及其ノ程度ニ關ス
 ル規程ヲ定メラル
 八月七日第一回應募生徒四百三十七人ノ中百二十人ニ入學ヲ許可ス
 九月一日入學生徒ノ引見式ヲ行ヒ翌二日ヨリ其ノ授業ヲ開始ス
 全日生徒心得生徒服裝規程校務分掌規程其ノ他校務ニ關スル諸般ノ
 細則ヲ定ム

十月十三日 兩陛下ノ御眞影ヲ下賜セララル
 十月二十九日當時上京中ノ教授山崎彌久太郎曩ニ下賜セラレタル
 兩陛下ノ御眞影ヲ拜受シテ歸任ス
 十月三十一日 御親署ノ勅語ヲ下賜セララル
 十一月十七日 聖上神宮御參拜ニ付敬意ヲ表スル爲メ生徒總員ヲ講
 堂ニ集メ特別講筵ヲ開ク
 十二月一日校外視察規程ヲ設ケ職員ヲシテ校外ニ於ケル生徒ノ動靜
 ヲ視察セシムルコトス
 明治三十九年一月十二日當時上京中ノ講師都澤惇曩ニ下賜セラレタ
 ル 御親署勅語ヲ拜受シテ歸任ス
 二月八日生徒扣所小使室附屬建物ノ工事落成シタルニヨリ引渡ヲ文
 部大臣官房建築課ヨリ受ク
 三月二十九日勅令第四十六號ヲ以テ本校職員ノ定員ヲ改正セララル

四月十七日第二回應募生徒三百七十一人中百二十人ニ入學ヲ許可ス
 四月二十三日入學生徒ノ引見式ヲ行ヒ翌二十四日ヨリ其ノ授業ヲ開始ス

本校ニ關スル法令

第一 文部省直轄諸學校官制(抄録) 明治二十六年八月勅令第八十六號
 明治三十九年三月勅令第四十一號

第一條 文部省直轄諸學校ハ左ノ如シ

- | | | |
|-----------|----------|-----------|
| 東京高等師範學校 | 廣島高等師範學校 | 女子高等師範學校 |
| 札幌農學校 | 盛岡高等農林學校 | 東京高等商業學校 |
| 神戸高等商業學校 | 長崎高等商業學校 | 第一高等學校 |
| 第二高等學校 | 第三高等學校 | 第四高等學校 |
| 第五高等學校 | 第六高等學校 | 第七高等學校造士館 |
| 山口高等商業學校 | 千葉醫學專門學校 | 仙臺醫學專門學校 |
| 岡山醫學專門學校 | 金澤醫學專門學校 | 長崎醫學專門學校 |
| 東京高等工業學校 | 大坂高等工業學校 | 京都高等工藝學校 |
| 名古屋高等工業學校 | 熊本高等工業學校 | 仙臺高等工業學校 |
| 東京外國語學校 | 東京美術學校 | 東京音樂學校 |

東京盲啞學校

第六條 文部省直轄諸學校ニ左ノ職員ヲ置ク

- 校長
- 教授
- 助教授
- 書記

第七條 校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス

第八條 教授ハ勅任又ハ奏任トス生徒ノ教授ヲ掌ル助教授ハ判任トス教授ノ職務ヲ助ク

第九條 書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ従事ス

* * * * *

第十七條 專任教官中其ノ學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得テ
ル場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若クハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣
ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學科ノ教授ヲ擔任セシムル
コトヲ得

* * * * *

第十九條 文部大臣ハ校務上ノ須要ニ依リ學校ニ商議委員會ヲ設ク
ルコトアルヘシ其ノ委員ハ文部大臣之ヲ命ス

第二 文部省直轄諸學校職員定員令(抄録) 明治三十五年三月勅令第九十九號
明治三十九年三月勅令第四十六號

長崎高等商業學校

- 校長 一人
- 教授 十人
- 助教授 四人
- 書記 五人

第一條 專門學校ノ本科ニ入學セントスル者ニシテ中學校***ヲ卒業セサル者ハ此規程ニ依リ檢定ヲ受クヘキモノトス

第二條 檢定ヲ受ケントスル者ハ左ノ資格ヲ具備スルコトヲ要ス

- 一 年齢男子ハ滿十七年以上***ナルコト
- 二 身體健全ナルコト
- 三 品行方正ナルコト
- 四 現ニ中學校***ニ在學セサルコト

第三條 檢定ヲ分テ試験檢定無試験檢定ノ二トシ試験檢定ハ官立公立ノ中學校***ニ於テ便宜之ヲ行ヒ無試験檢定ハ當該專門學校ニ於テ生徒入學ノ際之ヲ行フ

第四條 試験檢定ノ學科目及其ノ程度ハ中學校***ノ各學科目及其ノ卒業ノ程度トス***

第五條 官立公立ノ中學校***ニ於テハ試験檢定ニ合格シタル者

ニハ試験檢定合格證書ヲ交付スヘシ

第八條 左ニ掲クル者ハ無試験檢定ヲ受クルコトヲ得

- 一 文部大臣ニ於テ專門學校ノ入學ニ關シ中學校***ノ卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定シタル者
- 二 明治三十五年文部省告示第八十二號ニ依リ高等學校入學ノ豫備試験ニ合格シタル者

第七 文部省直轄學校外國人特別入學規程

明治三十四年十一月
文部省令第十五號

第一條 外國人ニシテ文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規程ニ依ラズ所定ノ學科ノ一科若ハ數科ノ教授ヲ受ケントスル者ハ外務省在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館ノ紹介アルモノニ限り特ニ之レヲ許可スルコトアルヘシ

第二條 前條ニ依リ教授ヲ受ケントスル外國人ハ前條ノ紹介書ヲ添ヘ帝國大學總長若ハ學校長ニ願出ツヘシ

第三條 帝國大學總長若ハ學校長ニ於テ前條ノ出願ヲ受ケタルトキハ相當ノ學力アリト認メタル者ニ限り之ヲ許可スヘシ但シ學校ノ設備上差支アル場合ハ此ノ限ニアラス

第四條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證明書ヲ受ケントスル者ニハ試験ノ上之ヲ附與スヘシ

第五條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニハ入學試験料入學料及授業料ヲ徴收セサルコトヲ得

第六條 帝國大學總長及學校長ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

附 則

第七條 本令施行ノ際文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラ

諸 規 則

校 規

第一款 長崎高等商業學校規則

第一章 目的及定員

第一條 本校ハ實業學校令及專門學校令ノ定ムル所ニ據リ商業ニ從フ者ニ須要ナル高等教育ヲ施スヲ以テ目的トス

第二條 本校生徒ノ定員ハ三百六十人トス

ス在學スル外國人ハ本令ニ依リ入學シタルモノト看做ス

第八條 明治三十三年文部省令第十一號文部省直轄學校外國委託生ニ關スル規程ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第二章

第三條 生徒ヲシテ履修セシムヘキ學科課程ハ左ノ如シ但シ第二外國語ハ清語韓語獨語及露語トシ生徒ノ志望ニ依リ其ノ一ヲ修メシム

科目	年		
	第一學年	第二學年	第三學年
倫理	一	一	一
書法及商業文	二	二	一
英語	一〇	一〇	一〇
經濟學		三	四
民法商法		三	三
工業大意	三		
簿記	四	三	二

商業算術	二	二	一
商業地理及商品學	三	三	
商業實習	四	三	八
第二外國語	三	三	三
体操	三	三	三
計	三五	三五	三五

倫理ノ教授時間ハ適宜之ヲ斟酌スルコトアルヘシ
時宜ニ依リ教授定日時外ト雖トモ隨時講演ヲ聽カシメ又ハ實習ヲ課スルコトアルヘシ

第三章 學年、學期及休業日

第四條 學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル
學年ハ分テ春秋冬ノ三學期トシ春學期ハ四月一日ヨリ八月三十一

日マテトシ秋學期ハ九月一日ヨリ十二月三十一日マテトシ冬學期ハ一月一日ヨリ三月三十一日マテトス

第五條 休業日左ノ如シ

- 一 祝日、大祭日
- 二 日曜日
- 三 本校紀念日
- 四 春季休業日(四月一日ヨリ四月十日ニ至ル)
- 五 夏季休業日(八月一日ヨリ八月三十一日ニ至ル)
- 六 冬季休業日(十二月二十五日ヨリ翌年一月七日ニ至ル)

第四章 入學、在學、退學及懲戒

第六條 生徒ヲ入學セシムヘキ時期ハ學年ノ始トス

第七條 第一學年ニ入學ヲ許スヘキ者ハ品行方正年齢十七年以上ニシテ左ノ諸號ノ一ニ該リ入學試験及身體検査ニ合格シタル者タル

ヘシ

- 一 中學校ヲ卒業シタル者
 - 二 専門學校入學者檢定規程ニ依ル試験檢定ニ合格シタル者
 - 三 専門學校入學者檢定規程第八條第一號ノ指定ヲ受ケタル者
 - 四 甲種商業學校ヲ卒業シタル者
- 合格者ノ數募集定員ニ超過スルトキハ其ノ優良ナル者ヲ選抜シテ入學ヲ許可ス
- 入學試験ノ學科目ハ國語及漢文、英語、歴史、地理、數學、物理、化學、博物、圖書トシ中學校卒業ノ程度ニ依リ之ヲ行フ但シ第一項第一號乃至第三號ニ該ル者ニ對シテハ時宜ニ依リ文部大臣ノ許可ヲ得テ一科目若ハ數科目ノ試験ヲ省略スルコトアルヘシ
- 第八條 第二學年以上ニ補缺入學ヲ許スヘキ者ハ第一學年ニ入學スルコトヲ得ル資格ヲ有シ且前各學年次ノ學科目ニ就キ其ノ修了ノ

程度ニ依リ施行スル試験ニ合格シタル者タルヘシ
合格者ノ數當該學年次ノ缺員ヲ超過スルトキハ其ノ優良ナル者ヲ
選拔シテ入學ヲ許可ス

第九條 入學ヲ願フ者ハ左ノ書類ニ入學試験料ヲ添ヘ之ヲ學校長ニ
差出スヘシ

一 入學願書(第一號)

二 履歷書(第二號)

三 戶籍抄本

四 第七條第一項第二號ノ合格證明書(第三號)若ハ第一號第三號第

四號ニ該ル學校長ノ卒業證明書(第四號)

五 寫真 手札形ニシテ脱帽半身入學出願前六箇月以内ニ撮影シテ
紙ヲ用ヒス裏面ニ氏名及撮影年月日ヲ自記シタルモノ

入學試験料ハ金二圓トシ納付後ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セス

第十條 本校ヲ退學シタル者再入學ヲ願フトキハ缺員アル場合ニ限

リ詮議ノ上第八條入學試験ノ一部又ハ全部ヲ省略シテ原學年次以
下ニ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

入學試験ノ全部ヲ省略スル場合ニ於テハ入學試験料ヲ徴收セス

第十一條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ保證人二人ヲ立テ指定期日内ニ
誓書(第五號)ヲ學校長ニ差出スヘシ

前項ノ手續ニ違フ者ニハ入學許可ヲ取消スコトアルヘシ

第十二條 保證人ノ一人ハ丁年以上ノ男子ニシテ獨立ノ生計ヲ營ミ
父兄後見人等タル緣故ヲ以テ生徒ノ身分ニ關シ一切ノ事ヲ引受ク
ルニ足ル者トシ他ノ一人ハ之ヲ本校教官ニ委託スヘシ
學校長ニ於テ保證人ヲ不適當ト認ムルトキハ之ヲ變更セシムルコ
トアルヘシ

保證人改名轉籍轉居若ハ改印シタルトキハ直チニ之ヲ届出ツヘシ
第十三條 保證人死亡シ若ハ前條第一項ノ資格ヲ失ヒタルトキ又ハ

九十日以上ノ旅行ヲ爲サントスルトキハ他人ヲ以テ之ニ代ヘ更ニ
誓書ヲ差出スヘシ

第十四條 生徒改名轉籍轉居若ハ改印シタルトキハ改名轉籍ニハ戶
籍抄本ヲ添ヘ保證人二人連署ノ届書ヲ差出スヘシ

第十五條 學校長ニ於テ生徒ノ宿所ヲ不適當ト認ムルトキハ之ヲ變
更セシムルコトアルヘシ

第十六條 生徒ハ本校所定ノ制帽制服ヲ着用スヘシ

第十七條 生徒本校所屬ノ遺營物若ハ財産ヲ毀損紛失シタルトキハ
相當代價ヲ以テ之ヲ辨償セシム

第十八條 生徒疾病其ノ他不得止事由ニ因リ缺席シタルトキハ次回
出席ノ當日迄ニ其ノ事由ヲ詳記シタル保證人連署ノ届書ヲ學校長
ニ差出スヘシ

引續キ七日以上缺席セントスルトキハ豫メ日數ヲ定メ疾病ニハ醫

師ノ診斷書ヲ添ヘ届書ヲ差出スヘシ

第十九條 生徒疾病ニ罹リ九十日以上修學シ能ハスト思慮スル者ハ
醫師ノ診斷書ヲ添ヘ保證人二人連署ノ願書ヲ學校長ヘ差出シ許可
ヲ得テ該學年間休學スルコトヲ得但シ休學中其ノ事由消滅スルト
キハ許可ヲ得テ一學科目若ハ數學科目ノ授業ニ出席スルコトヲ得
前項ニ依リ休學ヲ許可セラレタル者ハ次學年ノ始ヨリ原學年次ノ
課程ヲ履修スヘシ

第二十條 生徒徵兵令第十三條ニ據リ陸軍一年志願兵ニ服役スル者
ハ學校長ノ許可ヲ得テ其ノ間休學スルコトヲ得

前項ニ依リ休學ノ許可ヲ得タル者服役ヲ終リタルトキハ直チニ原
學年次ニ復歸スヘシ

第二十一條 生徒ハ學校長ノ許可ヲ受クルニアラサレハ他ノ學校ニ
入り又ハ他ノ學校若ハ官署ニ於ケル各種ノ試験ニ應スルコトヲ得ス

前項ノ許可ヲ受クルニハ其ノ事由ヲ具シ保證人二人ノ連署ヲ以テ願出ツヘシ

第二十二條 生徒左ノ諸號ノ一ニ該ル者ハ學校長之ヲ除名ス

- 一 性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認めタル者
- 二 學力劣等若ハ身體虛弱ニシテ成業ノ見込ナシト認めタル者
- 三 引續キ一箇年以上缺席シタル者但シ第二十條第一項ニ依リ一箇年以上休學スル者ヲ除ク
- 四 正當ノ事由ナクシテ引續キ一箇月以上缺席シタル者
- 五 正當ノ事由ナクシテ屢々遅刻缺席シ出席常ナラサル者
- 六 正當ノ事由ナクシテ第十七條ノ辨償ヲ怠リ若ハ授業料息納ニ週日ニ渉ル者

第二十三條 生徒不得止事由ニ因リ退學セントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ保證人二人ノ連署ヲ以テ學校長ニ願出テ許可ヲ受クヘシ但シ

疾病ニ因リ退學セントスル場合ニ於テハ願書ニ醫師ノ診斷書ヲ添フルコトヲ要ス

第二十四條 生徒校規命令又ハ訓練ノ旨趣ニ背キ其ノ本分ヲ失ヘリト認ムヘキ行爲アル者ハ學校長之ニ懲戒ヲ加フ

懲戒ハ分テ譴責、停學、放校トス

第五章 修業及卒業

第二十五條 生徒ハ一學年次ノ課程ヲ修了スルニアラサレハ次學年次ノ課程ヲ履修スルコトヲ得ス此ノ場合ニ於テハ次學年ノ始ヨリ原學年次ノ課程ヲ再修スヘシ

第二十六條 一學年次ノ課程修了ハ學年ノ終ニ於テ各學科目ノ成績ヲ考查シテ之ヲ認ム

各學科目ノ成績ハ平常ノ學業、學期及學年試驗ニ依リ之ヲ査定ス但シ書法及商業文、簿記、商業實習體操ニ就キテハ學校長ノ見込ヲ以テ

學期及學年試驗ノ一若ハニヲ省畧スルコトアルヘシ

第二十七條 正當ノ事由ニ因リ學期若ハ學年試驗ニ缺席シタル者追
試験ヲ受ケンコトヲ願出ツルトキハ詮議ノ上之ヲ許可スルコトア
ルヘシ此ノ場合ニ於テハ次學期始二週日以内ニ追試験ヲ施行ス
第二十八條 學年試験ノ一部若ハ全部ニ缺席シ追試験ヲ受ケタル者
又ハ一學年中各學科目ノ缺席時數總授業時數ノ三分一ヲ超ユル者
ハ其ノ學年次ノ課程修了ヲ認メス

第二十九條 學年次各學科目ノ成績考查ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定
ム

第三十條 第三學年ノ課程ヲ修了シタル者ニハ卒業證書(第六號
様式)ヲ授
與ス

第六章 特待生

第三十一條 生徒品行方正學業熱心ニシテ一學年中ノ成績優良ナル

者ハ學校長之ヲ選ヒテ次學年間特待生ト爲スコトアルヘシ

第三十二條 特待生ニハ授業料ヲ徵收セス

第三十三條 特待生ノ資格ヲ失ヘリト認ムヘキ行為アル者ハ其ノ特
待生タルコトヲ罷ム

第七章 授業料

第三十四條 授業料ハ生徒一人ニ付一學年金二十五圓トシ每學期始
業日ヨリ七日以内ニ左ノ如ク之ヲ分納セシム

春學期 八圓 秋學期 九圓 冬學期 八圓

第三十五條 期日內ニ於テ授業料ヲ納付セサル者ハ未納中之レカ出
席ヲ停止スルコトアルヘシ

第三十六條 既納ノ授業料ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セス

第三十七條 休學ノ許可ヲ得タル者ハ其ノ當日以後ノ授業料納付期
日ヨリ休學期間授業料ヲ徵收セス

第三十八條 休學中ノ生徒ニシテ學期ノ半途ヨリ出席スル者又ハ特
 待生ニシテ第三十三條ノ處分ヲ受ケタル者ハ其ノ月ヨリ一箇月金
 二圓ノ割ヲ以テ學期ノ餘月ニ對スル授業料ヲ指定期日内ニ一時ニ
 納付セシム

附 則

第三十九條 明治三十八年ノ入學者ニ對シテハ其ノ卒業ニ至ルマテ
 學年ハ九月一日ニ始リ翌年八月三十一日ニ終ルモノトス

第一號様式(用紙美濃紙)

入 學 願 書 (希望ノ受験場所
長崎若ハ東京)

(某儀貴校へ入學志願ニ付御許可相成度別紙履歷書、卒業證明書若ハ專
 門學校入學者試験檢定合格證明書) 戶籍抄本入學試驗料金貳圓寫眞一
 葉相添此段相願候也

現住所

本籍地

族稱戶主(若ハ戶主トノ續柄)

何

某印

年 月 日

何年月日生

長崎高等商業學校長 何 某 殿

(備考) 本人氏名ニハ片假名ヲ附スヘシ

第二號様式(用紙美濃紙)

履 歷 書

現住所

本籍地

族稱戶主(若ハ戶主トノ續柄)

何

某

一 學 業

何年月日生

何年月ヨリ何年月迄何地公私立何學校ニ於テ(若ハ何某ニ就キ)何學
科修業

何年月何地公私立何學校ニ於テ(若ハ何某ヨリ)何學科修業證書若ハ
卒業證書ヲ受ク證書別紙寫入通

一 職 業

何年月何官職拜命若ハ何業ニ從事

何年月退官廢業若ハ現今在職從事等

一 賞 罰

何年月何官署(何誰)ヨリ何賞罰(感謝狀)ヲ受ク等

右之通相違無之候也

年 月 日

何

某印

第三號様式(用紙美濃紙)

證 明 書

族 籍

何

某

何年月日生

右ハ專門學校入學者檢定規程ニ據リ何年月日本校ニ於テ施行シタル
試験檢定ニ合格シタル者ナルコトヲ證明ス

年 月 日

何地官公立何學校長 何

某印

第四號様式(用紙美濃紙)

卒業(在學)證明書

何

某

何年月日生

右ハ何年月日本校第何學年ハ入學何年月日全科卒業シタル(若ハ卒業

スヘキ見込ノ者ナルコトヲ證明ス

年月日 何地公私立何學校長 何

何

某印

第五號様式(用紙美濃紙)

誓書

某儀貴校ニ入學御許可相成候ニ付テハ校規命令又ハ訓練ノ御旨趣ヲ
遵守シ専心學業ヲ勉勵可致候仍テ誓書如此候也

現住所

本籍地

族稱戸主若ハ戸主トノ續柄

年月日

何

某印

何年月日生

長崎高等商業學校長 何 某殿

前文(何某)誓書ノ趣拙者保證ノ責ニ任シ可申候也

長崎高等商業學校教官

保證人 何

某印

前文(何某)誓書ノ趣拙者保證ノ責ニ任シ可申ハ勿論本人ノ身分ニ係ル
一切ノ事ハ拙者ニ於テ引受可申候也

現住所

本籍地

職業

族稱(生徒ノ父兄若ハ其ノ縁
故ノ要領ヲ記スヘシ)

保證人 何

某印

何年月日生

前書保證人(何某)ハ本市區町村内ノ公民若ハ丁年以上ノ男子ニシテ本
市區町村内ニ於テ獨立ノ生計ヲ營ム者ニ有之候也

年月日

何市區町村長 何

某印

(備考) 本學校長ニ於テ保證人ヲ識認シタルトキハ市區町村長ノ與書ヲ要セス

第六號様式

卒業證書

學校印

府縣族稱

何

某

何年月日生

右ハ本校所定ノ學科課程ヲ履修シ正ニ其ノ業ヲ卒ヘタリ仍テ之ヲ證ス

年月日

長崎高等商業學校長位勳學位爵 何

某印

番號

第二款 長崎高等商業學校外國人特別入學規程細則

第一條 外國人ニシテ本校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス所定ノ學科目中一科目若ハ數科目ノ教授ヲ受ケンコトヲ願出ル者アルトキハ本細則ニ據リ之レカ許否ヲ定ム

第二條 第一條ノ出願者ハ願書ニ外務省在外公館若ハ本邦所在ノ外國公館ノ紹介狀及履歷書ヲ添附シ學校長ニ差出スヘシ

第三條 第一條ノ出願者ノ學力ハ試験ニ依リ之ヲ檢定ス此ノ場合ニ於テハ入學試験料ヲ徵收セス

第四條 經歷ニヨリ日本帝國中學校卒業以上ノ學力アリト認ムルコトヲ得ル者ニ對シテハ前項ノ入學試験ヲ省畧ス

第五條 本細則ニ據リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證明書ヲ受ケンコトヲ願出ルトキハ試験ヲ施行シ其ノ成績ニ依リ之レカ許

否ヲ定ム

第六條 本細則ニ據リ入學シタル外國人ニ對シテハ本細則中規定スル條項ノ外總テ本校規則ヲ適用ス

第三款 長崎高等商業學校物品會計施行細則

第一條 物品ノ出納ハ學校長ノ命令ニ依リ物品會計官吏之ヲ執行ス

第二條 物品ノ受入ニハ左ノ書類ヲ以テ命令ヲ受クヘシ

- 一 購入物品ニ就キテハ物品購入及受入伺書
- 二 寄贈物品ニ就キテハ寄附者ノ願書若ハ其ノ受領決議書
- 三 諸官廳ヨリノ保管轉換物品ニ就キテハ物品引繼書

第三條 物品ノ支給ニハ物品請求及領收證票ヲ以テ命令ヲ受クヘシ

第四條 通常所要ノ物品ハ其ノ豫定數量以內ニ於テ命令ヲ受ケ一回

若ハ數回ニ取纏メテ購入ノ手續ヲ爲シ置キ請求ニ應シテ之ヲ支給スヘシ

第五條 臨時所要ノ物品ハ物品監守者若ハ物品取扱主任者又ハ當該首席教官ノ請求ニ依リ其ノ都度命令ヲ受ケ出納ノ手續ヲ爲スヘシ

第六條 支給ノ物品ハ凡テ責任アル職員ニ渡シ受領ノ證トシテ帳簿ニ捺印セシメ若ハ別ニ領收證書ヲ徴スヘシ

第七條 使用中ノ物品ニシテ自然毀損ニ因リ其ノ修理若ハ引換ヲ要スルモノアルトキハ監守者ハ物品會計官吏ニ其ノ修理若ハ引換ヲ請求スヘシ

第八條 物品ノ修理及運搬等ハ第五條ノ例ニル

第九條 各係室ヨリ不用ニ屬スル物品ヲ返付スルトキハ物品會計官吏之ヲ審査シ其ノ使用ニ堪フヘキモノハ之ヲ保存シ向來所要ノ見込ナキモノハ之レカ處分案ヲ具シテ學校長ノ裁決ヲ請フヘシ

第十條

物品ノ購買修理賣却等ノ執行ハ成規ニ依ル但シ賣却シタル物品ノ代價徴收ノ後ニアラサレハ引渡スコトヲ得ス

第十一條

物品ノ出納保管ニ關スル票簿ノ種類及様式左ノ如シ

一 備品(消耗品)請求及領收證券

本票ハ請求ニ係ル物品ノ品目、數量、需用ノ事由受授年月日等ヲ記載シ又出納命令ノ執行ヲ明カニス

二 備品返付證券

本票ハ不用ニ屬スル物品ノ品目、數量、種別、番號、不用ノ事由等ヲ記載シ又出納命令ノ執行ヲ明カニス

三 消耗品出納簿

本簿ハ消耗品ノ受拂價格、納人名等ヲ登記シ又其ノ在庫并ニ消費高ヲ明カニス

四 備品出納簿

本簿ハ器具、圖書機械、商品見本各類ニ就キ別々ニ之ヲ設ケ物品ノ品目、個冊數、受拂價格、納人名等ヲ登記シ又其ノ物品監守者、物品會計官吏トノ間ニ於ケル受授并ニ在庫使用物品ノ現在ヲ明カニス

五 雜誌類交付簿

本簿ハ雜誌類ノ書目、發行年月日號ヲ記入シ其ノ受授ヲ明カニス

六 物品監守簿

本簿ハ各室ニ之ヲ備ヘ共用備品ノ個數、記號、受授年月日等ヲ明記ス

圖書機械、商品見本ノ物品監守簿ハ各係ニ於テ備フル原簿トス

七 消耗品受拂簿

本簿ハ各室ニ之ヲ備ヘ物品ノ數量、受拂年月日等ヲ明記ス

八 郵便切手受拂簿

本簿ハ郵便切手取扱主任者之ヲ備ヘ郵便物ノ種類發送者受領者
數量受拂年月日等ヲ明記ス

九 其ノ他必要ナル補助簿

(様式ハ畧ス)

第十二條 物品監守簿ハ物品支給ノ際物品會計官吏又ハ其ノ代理者
ニ於テ之ヲ登記シ監守者捺印スヘシ

第十三條 凡テ票簿ハ漫リニ加筆塗抹又ハ合印等爲スヘカラス若シ
誤記シタルトキハ朱二線ヲ引キ訂正ノ證印ヲ捺スヘシ

第十四條 郵便切手取扱主任者ハ毎月三日迄ニ前月中ニ屬スル郵便
切手受拂表ヲ調製シテ物品會計官吏ニ通報スヘシ

第十五條 凡テ受入物品ハ支給交付スルモノ、外倉庫ニ藏置シ物品
會計官吏之ヲ保管スヘシ但シ一時倉庫外ニ置クトキハ相當ノ取締
ヲ附スヘシ

在庫及使用中ノ備品ハ物品會計官吏ニ於テ時々修理ヲ要スルモノ
、員數ヲ調査シテ修理ノ手續ヲ爲スヘシ

第十六條 物品會計官吏ハ毎年一回以上各室ニ就キ物品監守簿消耗
品受拂簿ヲ以テ現品ヲ査閲シ其ノ狀況ヲ學校長ニ申報スヘシ

第十七條 物品監守者ハ毎月一回以上帳簿ニ依リ監守物品ヲ點檢ス
ヘシ

第十八條 在庫又ハ使用物品ノ毀損若ハ紛失スルモノアルトキハ物
品會計官吏又ハ物品監守者若ハ物品取扱主任者ハ速ニ其ノ實況ヲ
具シ學校長ニ届出ヘシ

第十九條 物品監守者又ハ物品取扱主任者交替スルトキハ前任者及
後任者ハ物品會計官吏立會ノ上物品監守簿又ハ消耗品受拂簿ニ依
リ物品ノ受授ヲ爲スヘシ
物品ノ受授ヲ了シタルトキハ物品監守簿ニ年月日ヲ記入シ署名捺

印ノ上其旨學。校長ニ届出ヘシ

物品監守者病氣其ノ他ノ事由ニ因リ不參スルトキハ次席者若ハ特ニ學校長ノ指命シタル代理者第一項ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十條 一室備付ノ物品ハ規定ノ手續ヲ了スルニアラサレハ猥ニ他室ニ移轉スルコトヲ得ス但シ授業上若ハ一時ノ必要ニ依リ他室ニ移轉スルコトヲ要スル場合ハ此ノ限リニアラス

第二十一條 各室ニ於テ不用ニ屬シタル物品アルトキハ速ニ之レカ返附ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十二條 第十四條及第十五條ニ掲クル物品保管又ハ監督上ニ就キヲハ物品會計官吏其ノ責ニ任スヘシ

第二十三條 使用中ノ物品ニシテ共用ニ係ルモノハ物品監守者又ハ物品取扱主任者之レカ監守及取扱上ノ責ニ任スヘク職員各自ノ專用ニ係ルモノハ各自之レカ監守ノ責ニ任スヘシ

第二十四條 物品ノ保管使用消費等ニ就キ之レカ適否ヲ検査セシムル爲メ物品檢閲委員若干人ヲ置ク

第二十五條 檢閲ヲ分チテ定時臨時ノ二トス

第二十六條 定期檢閲ハ毎年七月臨時檢閲ハ臨時之ヲ執行スヘシ

第二十七條 物品檢閲委員ハ毎年四月之ヲ任命シ其ノ任期ハ翌年三月ニ終ハル

第二十八條 物品檢閲ノ期日ハ首席委員前以テ物品會計官吏物品監守者及物品取扱主任者ニ通牒スヘシ

第二十九條 檢閲委員ノ検査スヘキ要領左ノ如シ

- 一 物品保管ノ適否
- 一 備品使用ノ適否
- 一 消耗品消費ノ適否
- 一 物品欠損ノ有無

第三十條 物品檢閲ノ際ハ在庫ノ物品ニ就キテハ物品會計官吏使用中ノ物品ニ就キテハ物品監守者又ハ物品取扱主任者其ノ保管監守取扱ニ屬スル現品及帳簿ヲ取揃ヘ其ノ席ニ列シテ之レカ點檢ヲ受ケ物品檢閲員ノ質問ニ答フヘシ

第三十一條 物品檢閲委員ニ於テ檢閲上故障ナシト認メタルトキハ帳簿ニ檢印シテ之ヲ證明スヘシ

第三十二條 物品檢閲委員其ノ檢閲ヲ終リタルトキハ檢閲ノ顛末ヲ學校長ニ申報スヘシ

細則

第一款 生徒心得

第一條 生徒ハ校規命令其ノ他本校訓練ノ旨趣ヲ遵守シテ學業ヲ勵

ミ立身報國ノ基ヲ建ツヘシ

居常自ラ重シテ苟モ生徒タル體面ヲ汚ス行爲アルヘカラス

第二條 常ニ衣食起居ニ注意シ身體ノ健全ヲ計ルヲ怠ルヘカラス

第三條 生徒ノ喫煙飲酒ハ衛生上有害ナルノミナラス風紀ニ關スル

コト少ナカラサルヲ以テ學校ノ内外ヲ問ハス生徒ハ常ニ自ラ制シ

テ其ノ惡習ニ陥ラザランコトヲ要ス

第四條 心ノ修養ハ讀書ニ待ツコト少ナカラサルヲ以テ平素其ノ資

料ノ選擇ヲ慎ミ苟モ猥褻卑陋ニ涉ル圖書ハ之ヲ閱覽スヘカラス

第五條 本校職員ニ對シテハ勿論生徒相互ノ間ニ於テモ禮節ヲ守リ

苟モ倨傲不遜ノ舉動アルヘカラス

第六條 校舍内ニ在リテハ授業中ハ勿論放課中ト雖モ靜肅ヲ旨トシ

苟モ喧噪ノ行爲アルヘカラス

始業時限ニハ遲滯ナク教室ニ入り所定ノ席ニ就クヘシ若シ遲參シ

タルトキハ受持教官ノ指揮ヲ受クルコトヲ要ス
放課中教室内ニ入込ムヘカラス

第七條 學校内ニ於テハ所定ノ場所以外ニ飲食吐唾スヘカラス

第八條 帽子外套其ノ他ノ携帶品ハ必ズ所定ノ場所ニ整置シ及物其
ノ他無用ノ物品ハ一切携帶シテ登校スヘカラス

第九條 學校所屬物件ノ取扱ハ鄭重ヲ旨トスヘキハ勿論ト雖モ若シ
建物器具等ヲ毀汚亡失シタルトキハ速ニ其ノ旨ヲ届出ツヘシ

第十條 學校ノ内外ヲ問ハス凡テ金錢ヲ募集シ若ハ集會社團ヲ開催
シ又ハ他人ノ開催ニ係ル集會社團ニ參加セントスルトキハ豫メ許
可ヲ受クヘシ

第十一條 生徒ハ本校職員ニ對シ團體トシテ意見ヲ開陳スルコトヲ
得ス

第十二條 生徒ハ其ノ宿所ノ表口見易キ所ニ規定ノ標札ヲ掲クヘシ

第十三條 宿所ハ入學ノ際并其ノ後變更ノ都度遲滞ナク届出ツヘシ
第十四條 家族若ハ同居人中又ハ近傍ノ町内ニ於テ激症傳染病ニ罹
リタル者アルトキハ速ニ届出ツヘシ
第十五條 凡テ告示ノ事項ハ所定ノ場所ニ揭示シタル日ヨリ一般ニ
領知シタルモノト認ムルヲ以テ之レカ見落ナキ様常ニ注意スヘシ

第二款 生徒服裝規程

第一條 生徒ノ服制ハ左(別表)ノ如シ

第二條 登校ノ際不得止事由ニ因リ制服ヲ着クルコト能ハサル者ハ
許可ヲ得テ和服ヲ着クルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ制帽及袴ヲ着ク
ヘシ

第三條 學校外ニ於テハ和服ヲ着クルコトヲ得ト雖モ制帽及袴ハ必

ス着用スルコトヲ要ス

第四條 六月一日ヨリ十月十五日ニ至ル期間ニ於テハ夏服ヲ着ケ餘他ノ期間ニ於テハ冬服ヲ着クヘシ但シ本文ノ各期間ハ天候ノ變ニ從ヒテ之ヲ伸縮スルコトアルヘシ

第五條 夏服用ノ期間ニ於テハ制帽ニ日覆ヲ附スヘシ但シ儀式又ハ體操ノ場合ノ外略帽ヲ代用スルコトヲ得

第六條 凡テ制服着用ノ際ハ下駄類ヲ以テ靴ニ代フルコトヲ得ス

(別表)

制		帽	
製式	地質	前章	横章
如圖 <small>海軍形</small>	黑羅紗	内字金色外紋銀色如圖 <small>徑九分五厘</small>	白二線縫込

略		冬			夏			冬		夏	
製式	地質	前章	帶布	製式	地質	鈕釦	製式	地質	製式	地質	鈕釦
如圖	白麥稈 <small>縁幅凡二寸五分 高凡二寸五分</small>	制帽ニ全シ	黑無地	如圖	紺ヘル若ハ小倉	金色如圖 <small>徑凡七分 袖鈕釦徑凡五分</small>	如圖	上衣ニ全シ	冬上衣ニ全シ	藍鼠(無地)セル若ハ霜降小倉	上衣ニ全シ
											冬袴ニ全シ

袴		靴		外			日		脚	
地	製式	地	製式	鈕	地	製式	地	製式	地	製式
上衣ニ全シ		短靴		如圖	如圖	如圖	如圖	如圖	如圖	如圖
		黑革		黑羅紗	裏地黒	如圖	如圖	白金巾	如圖	白麻
				徑凡七分	袖鈕徑凡五分					

第三款 職員服務心得

第一條 新任者ハ着任ノ日ヨリ七日以内ニ履歷書印鑑及宿所届ヲ差出スヘシ但シ改印改名轉居ヲ爲シタルハ又ハ他ノ官廳等ヨリ本校ヲ經由セスシテ直接辭令ヲ受ケ其ノ事項ノ履歷上ニ關係スルモノアルハ其ノ都度届出ツヘシ

第二條 職員登校スルハ必ス出勤簿ニ捺印スヘシ上官ノ命ニ依リ休暇日ニ出勤スルハ亦同シ

第三條 職員病氣其ノ他ノ事由ニ因リ缺勤セントスルハ登校時限前ニ其ノ事由ヲ具シ届出ツヘシ但シ病氣缺勤七日以上ニ涉ルハ届書ニ醫師ノ診斷書ヲ添フルコトヲ要ス

第四條 職員病氣其ノ他ノ事由ニ因リ執務期間中退出シ又ハ居住地ヲ離レントスルハ學校長ノ許可ヲ受クヘシ但シ休暇中ハ旅行日數及場所ヲ詳記シ届出ツヘシ

- 第五條 職員父母ノ忌日命日ニ丁リ祭典ヲ舉行スル爲メ出勤シ能ハサルキハ其ノ旨ヲ前日中ニ届出ツヘシ
- 第六條 職員親族ノ喪ニ遭ヒ忌服ヲ受クルキハ死者ノ氏名并死者トノ續柄ヲ詳記シタル忌引届ヲ差出スヘシ
- 第七條 職員出張ヲ命セラレタルキハ出發歸任共届出其ノ復命書ハ之ヲ十日以内ニ差出スヘシ但シ簡短ナル事項ニ對シテハ口頭ヲ以テ復命スルコトヲ得
- 第八條 職員轉任退官若ハ休職ヲ命セラレタルキハ其ノ擔任事務及物品等ノ目錄及説明書ヲ作り後任者若ハ學校長ノ指命シタル職員ニ引繼キ授受者連署ヲ以テ届出ツヘシ
- 第九條 凡ソ公文書類ハ學校長ノ許可ヲ受クルニアラサレハ之ヲ外人ニ示シ又ハ謄寫セシム可ラス
- 第十條 近火其ノ他非常異變ニ際シテハ職員ハ速ニ登校シテ上官ノ

指揮ヲ待ツヘシ

第四款 校務分掌規程

- 第一條 校務ヲ分チテ庶務、教務、會計、圖書及商品ノ五トシ各其ノ主任及係員ヲ置キテ之ヲ掌理セシム
- 第二條 各係ノ主管事務ニシテ他ノ係ニ關聯スルモノハ凡テ其ノ係ノ合議ヲ經ヘシ
- 第三條 事務ノ所屬不明ナルキハ學校長ノ指揮ニ從フヘシ
- 第四條 事務ノ性質ニヨリ臨時若ハ常任委員ヲ設ケテ之ヲ處理セシムルコトアルヘシ
- 第五條 庶務係ハ左ノ事務ヲ掌ル
 - 一 御影及勅語ニ關スル事項

- 二 學校長ノ官印及校印ノ管守ニ關スル事項
- 三 公文書類及成案文書ノ接受發送ニ關スル事項
- 四 庶務係ニ屬スル公文書類ノ起案及審査ニ關スル事項
- 五 諸規則ノ創改ニ關スル事項
- 六 法令諸規則其ノ他重要書類ノ整理保存ニ關スル事項
- 七 職員ノ進退身分及服務ニ關スル事項
- 八 雇外國人ニ關スル事項
- 九 學校一覽年報及官報報告ノ調製ニ關スル事項
- 十 日記及諸記錄ニ關スル事項
- 十一 諸儀式ニ關スル事項
- 十二 宿直ニ關スル事項
- 十三 庶務係ニ屬スル備品及消耗品ノ整理保存ニ關スル事項
- 十四 庶務係ニ屬スル公文書類及諸帳簿ノ整理保存ニ關スル事項

第六條 其ノ他他ノ各係ニ屬セサル一切ノ事項
 第六條 教務係ハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 學科課程ニ關スル事項
- 二 教科用書及參考用書ニ關スル事項
- 三 教室ノ配置及所屬教具ノ設備ニ關スル事項
- 四 授業時間ノ配置ニ關スル事項
- 五 教官ノ欠勤ニ關スル事項
- 六 教官會議ニ關スル事項
- 七 教務上學校長ノ命令傳達ニ關スル事項
- 八 生徒ノ募集ニ關スル事項
- 九 生徒入退學及休學ニ關スル事項
- 十 生徒ノ出欠席調査ニ關スル事項
- 十一 學級編制ニ關スル事項

- 三 試驗及其ノ成績調査ニ關スル事項
 - 三 試驗問題及答案ノ整理保存ニ關スル事項
 - 四 生徒ノ誓書、學籍及身分ニ關スル事項
 - 五 生徒ノ賞罰ニ關スル事項
 - 六 生徒ニ關スル統計的ノ調査ニ關スル事項
 - 七 卒業生ニ關スル事項
 - 八 參觀人取扱ニ關スル事項
 - 九 職員及生徒体格検査ニ關スル事項
 - 十 教務係ニ屬スル公文書類ノ起案審査ニ關スル事項
 - 十一 教務係ニ屬スル公文書類及諸帳簿ノ整理保存ニ關スル事項
 - 十二 教務係ニ屬スル備品及消耗品ノ整理保存ニ關スル事項
 - 十三 其ノ他教務ニ屬スル一切ノ事項
- 第七條 會計係ハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 經費及諸收入ノ豫算決算ニ關スル事項
- 二 金錢ノ收支保管ニ關スル事項
- 三 物品ノ出納保管ニ關スル事項
- 四 官有財産及資金ノ保管ニ關スル事項
- 五 校舍ノ建築營繕ニ關スル事項
- 六 校舍校地ノ警備取締ニ關スル事項
- 七 巡視及小使ノ進退監督ニ關スル事項
- 八 人夫ノ傭罷監督ニ關スル事項
- 九 給水電燈、通信機取扱及樹木手入等ニ關スル事項
- 十 校舍校地ノ清潔法ニ關スル事項
- 十一 會計係ニ屬スル公文書類ノ起案審査ニ關スル事項
- 十二 會計係ニ屬スル公文書類及諸帳簿ノ整理保存ニ關スル事項
- 十三 會計係ニ屬スル備品及消耗品ノ整理保存ニ關スル事項

古 其ノ他會計ニ屬スル一切ノ事項

第八條 圖書係ハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 圖書印章ノ管守ニ關スル事項
 - 二 圖書ノ出納、貸附、整理、保存ニ關スル事項
 - 三 圖書閱覽室ノ整頓及取締ニ關スル事項
 - 四 寄贈ノ圖書ニ關スル事項
 - 五 圖書係ニ屬スル公文書類ノ起案、審査ニ關スル事項
 - 六 圖書係ニ屬スル公文書類及諸帳簿ノ整理、保存ニ關スル事項
 - 七 圖書係ニ屬スル備品及消耗品ノ整理、保存ニ關スル事項
 - 八 其ノ他圖書ニ關スル一切ノ事項
- 第九條 商品係ハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一 商品見本ノ蒐集ニ關スル事項
 - 二 商品見本及教授用器械ノ出納、貸附、整理、保存ニ關スル事項

三 商品陳列所ノ整頓及取締ニ關スル事項

四 寄贈ノ商品見本及教授用器械ニ關スル事項

五 商品係ニ屬スル公文書類ノ起案、審査ニ關スル事項

六 商品係ニ屬スル公文書類及諸帳簿ノ整理、保存ニ關スル事項

七 其ノ他商品見本及教授用器械ニ關スル一切ノ事項

第十條 本款中規定スル外、校舎内各室ノ整頓、取締ヲ分擔セシムルコ

ト左ノ如シ、但シ特別教室、銃器室、器械室ノ擔任ハ別ニ之ヲ定ム

庶務係 校長室、講堂、事務室、應接室、宿直室

教務係 教室、教員室、會議室、事務室、生徒控所

會計係 事務室、門衛室、小使室、倉庫

第五款 學級擔任規程

- 第一條 各學級ニ擔任教官一人ヲ置キ關係教官中ニ就キ學校長之ヲ命ス
- 第二條 學級擔任教官ノ管掌スヘキ事務ハ凡ソ左ノ如シ
 - 一 生徒ノ學業勸獎風儀取締ニ關スル事項
 - 二 命令諭告ノ傳達等ニ關スル事項
 - 三 生徒ノ諸願屆審査ニ關スル事項

第六款 校外視察規程

- 第一條 校外視察ハ生徒ノ居所及校外ニ於ケル動靜ヲ明ニスルヲ以テ目的トス
- 第二條 校外視察ノ區域ヲ左ノ四區トシテ一區毎ニ擔任若干人ヲ置ク

ク

- 第一區 大手橋ノ上下流ニ沿ヒ高麗橋ヲ渡リ八幡宮光源寺ニ至ル街路ノ東北
 - 第二區 大手橋ノ上流ニ沿フ街路以西及大手橋ヨリ縣廳ニ至ル大路ノ西北
 - 第三區 大手橋ノ下流ニ沿フ街路ノ西北及大手橋ヨリ縣廳ニ至ル大路ノ東南
 - 第四區 高麗橋ノ下流ニ沿フ街路ノ東南
- 第三條 擔任職員ノ巡視ハ每學期少クモ二回各區ニ及ホスヲ常例トス
- 第四條 擔任職員ノ視察スヘキ事項ハ概ネ左ノ如シ
- 一 寄宿ノ狀況
 - 二 隣園ノ狀況

三 勤惰ノ狀況

四 其ノ他特ニ使命ヲ受ケ又ハ訓育上必要ト認メタル事項

第五條 前條ニ列記セル事項ノ細目ハ擔任職員巡視ノ度毎ニ之ヲ定ム

第六條 擔任職員巡視ノ際生徒ノ校規命令等ニ違背セル廉アルヲ認ムルキハ事宜ニ依リ直チニ之ヲ戒飭スヘシ

第七條 擔任職員巡視ヲ終リタルキハ直チニ口頭ヲ以テ大要ヲ復命シ又別ニ復命書ヲ作リテ提出スヘシ

第七款 學年次諸學科成績考查ニ關スル細則

第一條 學年次各學科目ノ成績ハ點數ヲ以テ表示シ一百ヲ以テ其ノ最高點トス

第二條 點數ノ計算ハ單位ニ止メ十分位ノ數ハ之ヲ四捨五入ス

第三條 學年次各學科目ノ成績ハ平常成績學期成績及學年成績ニ分チテ之ヲ考查ス

第四條 各學科目ノ平常成績ハ平素ノ學業及臨時試験ノ一若ハニニ依リ之ヲ定ム

第五條 各學科目ノ學期成績ハ各學期末ニ於テ該學期試験ノ成績ト平常成績トヲ參酌シテ之ヲ定ム

規則第二十六條第二項ニ據リ學期試験ヲ省畧スル場合及第三學期ニ於ケル學科目ノ學期成績ハ平常成績ノミニ依リ之ヲ定ム

第六條 各學科目ノ學年成績ハ該學年試験成績ニ各學期成績平均ノ二倍ヲ加ヘ其ノ和ヲ三除シテ之ヲ定ム

規則第二十六條第二項ニ據リ學年試験ヲ省畧スル學科目ノ學年成績ハ各學期成績ヲ平均シテ之ヲ定ム

第七條 追試験ヲ行フタル場合ニ於テハ實際評點ノ十分八ヲ以テ該試験成績トス

第八條 各學科目ノ學年成績左ノ諸號ニ該ル者ハ該學年次ノ課程ヲ修了シタル者ト認ム

一 諸學科目ノ學年成績總平均六十以上ナル者

二 各學科目ノ學年成績五十以上ナル者

三 學年成績六十未滿ノ學科目數學科目總數ノ半數ニ達セサル者

第九條 第八條ニ合格セサル者ト雖モ左ノ諸號ノ一ニ該リ平素品行優良學業勵精前途望ヲ屬スヘシト認メタル者ハ特ニ該學年次ノ課程ヲ修了シタル者ト認ムルコトアルヘシ

一 第八條第一号及第二号ニ該ル者

二 第八條第一号及第三号ニ該リ五十未滿ノ學科目數二科目以下ニシテ各四十以上ナル者

第八款 宿直規程

第一條 書記及事務雇員ハ交代ヲ以テ一名ツ、本校ニ宿直勤務スヘシ其ノ順番ハ庶務主任之ヲ定メ學校長ノ認可ヲ受クヘシ

第二條 宿直時間ハ平日ニ在リテハ退出時限ヨリ翌日登校時限マテトス休業日ニ在リテハ登校時限ヨリ翌日登校時限迄トス

第三條 左ノ諸項ノ一ニ該ル者ハ除番ス

一 出張中ハ勿論出張ノ前日及歸任ノ翌日

二 病氣ニ因リ缺勤三日以上ニ涉ル者ハ其ノ缺勤中及缺勤後初メヲ出勤シタル當日

三 父母ノ看病及祭典等ニ依リ賜暇中

四 忌引中

第四條 宿直ニ當ル者前條ノ外病氣其ノ他ノ事由ニ因リ宿直シ能ハサルキハ他ノ宿直ノ義務アル職員ト協議ノ上代勤セシムルコトヲ

得此ノ場合ニ於テハ宿直日誌ニ其ノ事實ヲ明記スヘシ

第五條 宿直ノ義務アル新任職員ハ登校ノ日ヨリ起算シ一週日ノ後宿直順番ニ加入ス

第六條 學校長ノ命ニ據リ特別ノ事務ニ服スル者ハ順番ヲ變更シ又ハ除番スルコトアルヘシ

第七條 宿直者ハ本校備フル所ノ宿直日誌ニ處務ノ狀況ヲ詳記シ學校長ノ檢閲ヲ受クヘシ其ノ要目凡ソ左ノ如シ

- 一 宿直ノ年月日并宿直者ノ氏名
- 二 宿直巡視小使ノ氏名
- 三 發送接受シタル物件ノ目錄
- 四 前諸項ノ外宿直中處理シタル事項

第八條 宿直中接受シタル電信親展公文書ハ勿論職員宛ノ私文書ト雖モ外見急速ヲ要スルモノト認め得ヘキモノハ直チニ宛名ノ者若

ハ學校長ニ送付シ其ノ他ノ文書ハ翌日宿直日誌ト共ニ次番者若ハ庶務係員ニ引繼クヘシ

第九條 宿直者ハ校舍各室ノ鎖鑰ヲ監守スルハ勿論又火元戸締ニ注意シ夜中ハ巡視若ハ小使ヲ率ヒ二回以上校舍内外ヲ巡視スヘシ

第十條 宿直中近火其ノ他非常ノ異變起ルルハ學校長ニ急報シ臨機ノ處置ヲ爲スヘシ

第十一條 宿直者ハ交代ノ時限至ルト雖モ平日ハ庶務係員ニ休業日ハ次番者ニ直接引繼ヲ了スルニアラサレハ學校ヲ離ル、コトヲ得ス但シ不得止場合ニ於テハ學校長ノ指揮ヲ受クヘシ

第九款 巡視心得

第一條 巡視ハ會計係ノ監督ヲ受ケ玄關門衛所ノ見張校舍内外校地

等ノ取締ニ從事スヘシ

第二條 巡視ハ登校時限前三十分迄ニ出勤シ直チニ出勤簿へ捺印スヘシ

第三條 巡視病氣其ノ他ノ事由ニ因リ出勤シ能ハサルトキハ登校時限前其ノ旨ヲ届出ツヘシ病氣引入五日以上ニ渉ルキハ缺勤届ニ醫師ノ診断書ヲ添付スルヲ要ス

第四條 巡視ハ常ニ制服制帽ヲ着ケ靴ヲ穿テ容儀ヲ正クシ外人ニ接スルニハ懇切ヲ旨トシ苟モ不遜怠慢ノ舉動アルヘカラス

第五條 巡視外來人ニ接スル際及玄關門衛所見張中ニ在リテハ制帽ヲ戴キタル儘直立シテ舉手注目ノ禮ヲ行フヘシ

第六條 門衛所見張ハ午前六時ヨリ午後十時迄玄關見張ハ午前七時ヨリ退出時限迄夜警ハ午後十時ヨリ翌日午前六時迄勤務スヘシ

第七條 門衛所見張ハ表門出入者ノ取締及校内ノ巡視ニ從事シ來客

ノ取次ヲ乞フモノアルトキハ先ツ名刺ヲ差出サシメ用向ヲ問ヒ若シ名刺ヲ持參セサルキハ其ノ氏名ヲ書取リ置キ執務期間中ハ之ヲ玄關見張ニ通知シ執務期間後ハ宿直員ニ取次クヘシ

第八條 門衛所見張ハ出入者ノ疑フヘキ廉アリト認メタルトキハ其ノ氏名用向等ヲ尋テ尚ホ不審ナリト思量スルキハ會計係若ハ宿直員ニ申出ツヘシ

第九條 門衛所見張ハ退出時限後本校ニ到達スル文書物品類ハ総テ之ヲ受取リ直チニ宿直員ニ送達スヘシ

第十條 正門ハ之ヲ午前六時ニ開扉シ職員退出後閉鎖ス但シ休業日祝祭日等ニハ之ヲ開扉セス

第十一條 脇門ハ之ヲ休業日祝祭日及正門閉鎖後ニ開扉シ午後十時ニ閉鎖スヘシ

第十二條 玄關見張ハ門衛所見張ヨリ來客ノ取次ヲ乞フモノアル旨

通知シ來リタルトキハ其ノ人ヲ應接所ニ導キ然ル後其ノ向キニ取次クヘシ

第十三條 立關見張ハ執務期間中本校ニ到達スル文書物品類ハ一切之ヲ受取リ本校及職員宛ノ文書ハ庶務係ニ差出シ生徒宛ノ文書ハ生徒用紙差ニ挿入シ其ノ他ノ物件ニ關シテハ庶務係ノ指圖ニ從フヘシ

第十四條 巡視出火近火ノ場合ニ際シテハ晝間ハ正門ヲ閉鎖シ脇門ヲ開キ夜間ハ門前ニ高張提灯ヲ掲ケ校舍内外一層嚴密ニ警戒ヲ加ヘ職員等本校ニ關係ノ者又ハ消防其ノ他官公吏ノ外通行ヲ禁止スヘシ
前舉ノ變災起ルトキハ非番ノ者ト雖モ直チニ駆着ケ職員ノ指揮ニ從フヘシ

第十五條 夜警ハ午後十時午前一時午前四時ノ三回必ス校舍内外ヲ

巡視スヘシ

第十六條 巡視ノ注意スヘキ要目左ノ如シ

- 一 火元ノ警戒門戸開閉戸締リ等
- 二 校舍内外ノ掃除下水中不潔物ノ有無等
- 三 牆壁道路防火栓等ノ故障破壞校舍ノ雨漏破損等
- 四 校舍内物品ノ破損散亂
- 五 商人職工其ノ他運搬夫等ノ校門出入取締等

第十七條 巡視了ハルキハ其ノ都度視察シタル事項ヲ日誌ニ記載シ置キ翌日口頭ヲ以テ之ヲ會計係ニ詳細申出ツヘシ但シ事ノ急ナリト認ムルモノハ直チニ會計係若ハ宿直員ニ申出ツヘシ

第十款 小使心得

- 第一條 小使ハ會計係ノ監督ヲ受ケ本校内外ノ雜役ニ從事スヘシ但シ小使中小使取締ヲ置キ他ノ小使ヲシテ服務上其ノ指圖ヲ受ケシム
- 第二條 小使ノ出勤時間ハ毎日午前七時ヨリ午後五時迄トス但シ退出ノ時限至ルト雖モ職員退出ノ後ニアラサレハ退出スルコトヲ得ス
- 第三條 小使登校スルキハ直チニ出勤簿ヘ捺印スヘシ
- 第四條 小使病氣其ノ他ノ事由ニ因リ出勤シ能ハサルキハ登校時限前其ノ旨ヲ届出ツヘシ但シ事情ニ依リ相當代人ヲ差出サシムルコトアルヘシ
- 第五條 小使ハ休業日ニシテ特別ノ校用ナキトキニ限り宿直小使ノ外順番ヲ定メテ便宜休暇スルコトヲ得

第六條 小使ハ交代ヲ以テ二名ツ、毎夜本校ニ宿泊勤務スヘシ

第七條 小使勤務中ハ必ス制服ヲ着シ且外勤ノ際ハ制帽ヲモ戴クヘシ

第八條 小使職員ヨリ招呼セララル、トキハ遲滯ナク之ニ應シ其ノ使命ヲ受クヘシ

第九條 小使校外ニ使スルキハ途中ニ於テ空シク時間ヲ移スコトナク速ニ其ノ用務ヲ辨シ歸校ノ上之ヲ復命スヘシ

第十條 小使ハ校舍内外ノ建設物器具機械等ヲ叮嚀ニ取扱ヒ汚損破壊又ハ粉失セサル様注意スヘシ

第十一條 小使教官室、各事務室、教室等掃除ノ際遺失品若ハ散亂シタル書類ヲ見出スルハ宿直員ニ届出ツヘシ

第十二條 小使ハ火ノ取扱ヲ最モ鄭重ニシ職員退出後ハ直チニ火鉢等ニアル殘火ヲ取除キ火氣全ク去リタル後叮嚀ニ掃除スヘシ

第十三條 小使ハ猥リニ其ノ詰所へ他人ヲ入レ雜談等ヲナス可カラサルハ勿論其ノ詰所以外ノ場所ニ於テ喫烟又ハ飲食スヘカラス

第十四條 小使ハ職員ノ許可ヲ得ルニアラサレハ生徒其ノ他ノ者ノ委囑ニ應スルコトヲ得ス

第十五條 學校ノ非常又ハ近火ニ際シテハ非番者ト雖モ直チニ本校ニ駆着クヘシ

第十六條 各室ノ掃除門戸開閉等ノ分擔ハ小使取締ニ於テ毎月之ヲ定メ會計係ニ届出ツヘシ

第十七條 小使詰所ニ屬スル備品消耗品ノ管守受拂ハ小使取締ニ於テ其ノ責ニ任スヘシ

職員

明治三十九年四月三十日現在

學校長

隈本有尙 福岡平

倫理

教授

簿記 甲第一學年二組擔任教官

山崎彌久太郎 高知平

英語 甲第一學年二組擔任教官

赤井直吉 京都平

英語 乙第二學年二組擔任教官 米國ハウヤルト大學
バナエロル、ガヴ、ロース

不破保 福岡平

商業學、商業實習 乙第二學年三組擔任教官

渡部明 島根士

書法及商業文倫理 乙第一學年二組擔任教官 文學士 守月 晃 高知平

講師

商業算術 甲第一學年三組擔任教官

三原義比 福岡士

工業大意商品學

工學士 都澤 惇 宮城士

商業地理及商品學	法學士 山本祐作 羅爾平
清語	軸丸卓爾 羅爾士
獨語	高辻 豐 埼玉士
體操	竹下水造 長崎平
露語	三ヶ尻邦彦 大分平
備教師	
韓語	安泳 中 韓國人
英語	米國ペンシルヴェニア大學 ドクトル、ホウ、フイロソフイ ジョン、トマス、インクラム、ブライアン 米國人
委員及事務員	
物品檢閲委員	教授 赤井直吉 前出
物品檢閲委員	教授 不破 保 前出
物品檢閲委員	教授 守月 晃 前出
圖書主任	教授 山崎彌久太郎 前出

教務主任 (囑託)	講師 三原義比 前出
商品主任 (囑託)	講師 都澤 惇 前出
教務係商品係	講師 軸丸卓爾 前出
圖書係	講師 三ヶ尻邦彦 前出
商品係	講師 竹下水造 前出
會計主任	書記 伊藤廣次 長崎平
庶務主任、教務係	書記 南川光一 岐阜平
庶務係、教務係	雇 木下虎次郎 福岡平
會計係	雇 太田貞市 佐賀平
圖書係會計係	雇 湯川和平 長崎平
學校醫	醫學得業士 井上智三郎 福岡士

生徒

學年別氏名

甲第一學年

(明治卅八年九月入學者)

百六人

イロハ順

(明治三十九年四月三十日現在)

泉善治	稻垣夫	池田正道	猪川琢	今井清七	池端清文	出田孝行	伊與田金次郎	出田碩磨	乾真介
平長	平長	平熊	士愛	平北海	士露	平熊	平愛	士熊	士茨
民山	民本	民本	族媛	民道	族島	民本	民知	族本	族城

堀生四郎	二宮榮壽	西村信一	西村宗一	原田與惣次	橋本十五郎	林初太郎	針谷勇次	原田猪輔	橋爪峰吉
士福	平愛	士佐	平奈	平宮	平島	士東	平群	平山	平福
族岡	民媛	族賀	民瓦	民崎	民根	族京	民馬	民口	民岡

奧村勇次郎	小野治夫	大谷顯太郎	小田清	岡本安吉	大村信一	小柳津敏枝	遠竹重夫	堂本頼次	榎島弘
平長	士大	士長	平大	平和	平島	平愛	士露	平和	士熊
民崎	族分	族崎	民分	平歌	民取	民知	族島	民山	族本

逢坂幸衛	和田勝	漢人彌三郎	河村清藏	加藤誓之助	川成進一	龜井貞次郎	加藤政夫	樺島久雄	吉田保太郎	萬屋林三	田中傳吉	玉置萬壽三
平德	士福	平靜	平廣	平愛	平東	平香	士殿	士福	平德	平長	平熊	平和
民島	族岡	民岡	民島	民知	民京	民川	族島	族岡	民島	民崎	民本	民山

武田禮吉	平賢吉	田中正司	高島勘一	玉置利清	竹本錠治郎	武居鴻城	高橋五郎	田代豊記	田邊繁次郎	土田倉之助	辻本喜男藏	中正一郎
平愛	平茨	平慶	平長	平奈	士佐	士熊	士福	士熊	平山	平新	平三	平群
民媛	民城	民島	民崎	民瓦	族賀	族本	族岡	族本	民口	民鴻	民重	民馬

永松利熊	成井頼佐	長島政茂	永久保豊	中辻長司	上田高豊	浦島正兵衛	浦部孫太郎	野村鐵雄	熊倉理一	山崎廣樹	山本榮三郎	山田次郎
士露	平京	平熊	士宮	平三	士靜	平露	士長	平長	平東	平長	平長	平佐
族島	民部	民本	族崎	民重	族岡	民島	族崎	民崎	民京	民崎	民崎	民賀

赤阪嘉藏	後藤武男	小見山七十五郎	古澤平八郎	二木萬藏	船引波兔	深水清澄	藤井淳山	藤好南海生	增原周次郎	前田利則	松林一郎	山蔭馨
平大士福	族岡	平熊	平佐	平長	士群	平熊	士山	士愛	平愛	士麿	平佐	平大
民阪	族岡	民本	民賀	民野	族馬	民本	族口	族媛	民媛	族島	民賀	民分

志村實三	滿田光雄	宮口真	木村惣市	酒美清	坂田無	坂井要	佐々木一雄	里村重雄	佐野榮治	佐野連	阿部守衛	有馬純彦
平山	士熊	士佐	平廣	士長	士熊	平長	士長	士福	平福	士麿	平福	士麿
民梨	族本	族賀	民島	族崎	族本	民崎	族崎	族岡	民岡	族島	民岡	族島

鈴村五郎	妹尾克巳	森純六郎	東弘安	廣田壽平	檜山英一	平野周	平賀佐次郎	廣瀬宗則	篠塚鎮雄	下村耕司郎
士福	平德	平長	士熊	平大	平廣	平愛	平三	士福	士長	士佐
族岡	民島	民崎	族本	民分	民島	民知	民重	族岡	族崎	族賀

乙第一學年

(明治廿九年四月入學者) 百二十一 人

袴田陳平	林彌一郎	濱之上涉	原口彦藏	蓮尾正次	稻次隆	岩永勳	岩野邑次	出口與助	石丸三郎	岩倉守男	市橋賢一
平靜	平宮	平麓	士長	平福	平福	士長	士佐	平麓	士愛	平香	士東
民岡	民崎	民島	族崎	民岡	民岡	族崎	族賀	民島	族媛	民川	族京

大島英雄	小川正次	岡田幸三郎	長瀧之助	東條三吉	富永能雄	留目辰雄	堀文吉	本多小相	西田猪之輔	萩原勝四郎	原田登
平柄	平神	平千	平大	士東	士長	平長	平德	平長	平三	平佐	平福
民木	民川	民葉	民分	族京	族崎	民崎	民島	民崎	民重	民賀	民岡

竹代善之進	高月菊太郎	竹內彌一	吉井藤兵衛	横山柁太郎	吉川忠雄	河野貞次郎	桂進太郎	楓正助	海津靜一	貝塚暢三	渡邊眞吉
平山	士長	平愛	平佐	士青	士長	平佐	平廣	平高	平新	士廣	平神
民口	族崎	民知	民賀	族森	族崎	民賀	民島	民知	民濁	族島	民川

中村	長尾	常本	螺良	園田	園田	武川	高橋	田上	竹林	谷岡	高田	高橋
宏三	修三	保次	寬喜	嚴喜	平治	西三	得四	良太	勝氏	孝兵	廣福	二郎
平靜	平大	平岡	平枋	士熊	士慶	平群	平新	平熊	士佐	平兵	士福	平愛
民岡	民阪	民山	民木	族本	族島	民馬	民瀧	民本	族賀	民庫	族岡	民媛

內山	馬渡	上塚	內田	村山	榎林	村上	村上	向井	永井	中原	中西	長澤
英雄	操	侑生	甲申	誠忠	五郎	是助	知之次	忠	篤忠	富治	重孝	淑
平長	士佐	士熊	士熊	士佐	士山	士福	士兵	平福	士長	士長	士長	士岡
民崎	族賀	族本	族本	族賀	族口	族岡	族庫	民岡	族崎	族崎	族崎	族山

山崎	山本	山本	山田	矢野	郡島	熊野	黑岩	黑松	隈元	倉成	國友	延田
秀清	治七	德三	齊真	正治	正治	左司	俊雄	助登	文太	清治	芳太郎	太郎
士慶	士愛	平靜	士廣	平東	平福	平長	平福	士慶	士慶	平長	士宮	平長
族島	族知	民岡	族島	民京	民岡	民崎	民岡	族島	族島	民崎	族城	民崎

福田	福島	富士	深海	慶田	松尾	松田	山口	山田	山崎	山口	山岡	山田
多吉	良助	本磐	海熊	田景	尾錡	田元	口房	田良	崎文	喜智	岡孝	田秀
平大	平山	平福	平佐	平慶	士佐	平長	士佐	士長	士長	平長	平佐	平熊
民分	民形	民岡	民賀	民島	族賀	民崎	族賀	族崎	族崎	民崎	民賀	民本

佐藤	佐藤	相良	佐野	西條	有田	麻生	原常	荒川	寺田	兒玉	藤永	藤野
德三	善作	捨男	常雄	伴五郎	得太郎	純一郎	治	豐	茂雄	良道	文發	隆吉
平大	平大	士長	平長	平德	平廣	平廣	士佐	平東	士慶	士山	平歌	平歌
民分	民分	族崎	民崎	民島	民島	民島	族賀	民京	族島	族口	民山	民山

日高	平田	廣瀬	平山	品川	下田	清水	右田	溝口	水野	溝口	三木	宮崎
春一	實登	虎肥	眞人	晋藏	德藏	耕介	新平	善藏	貞之助	直保	直保	德造
士慶	士福	平長	士熊	平島	平長	平大	士慶	平長	平福	士新	平高	平三
族島	族岡	民崎	族本	民根	民崎	民分	族島	民崎	民岡	族湯	民知	民重

三	奈	兵	大	京	山	宮	青	北	長	山	靜	朽
重	長	庫	坂	都	形	城	森	海	野	梨	岡	木
三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	一
三	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	三	二
六	二	二	二	一	一	一	一	一	一	一	五	二

群	茨	千	新	神	東	府	府縣學 年	甲第一學年	乙第一學年	計
馬	城	葉	瀉	奈	京	川				
三	二	一	一	一	三					
一	一	一	四	二	四					
四	二	一	五	二	七					

府縣別人員

東 靜 尚 熊
 本 村 茂 平 本
 瀨 川 彦 次 郎 平 長 崎
 民 崎

瀨 戶 健 太 郎 平 長 崎
 藤 英 二 士 長 崎
 杉 町 禎 治 士 佐 族 賀

鈴木

章 新 民 瀨

愛知	和歌山	鳥取	島根	岡山	廣島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	長崎	福岡
四	三	一	一	一	四	三	三	一	五	一	一五	一一
二	一	一	一	二	五	三	二	一	三	二	二六	一三
六	四	一	二	二	九	六	五	二	七	二	四一	二四

年齢別人員

大分	佐賀	熊本	宮崎	鹿児島	總計
四	七	一三	二	八	一〇六
五	一三	七	一	一〇	一一一
九	二〇	二〇	三	一八	二二七
種別	甲第一學年	乙第一學年	最高	最低	總平均
十七年以上	一	一一	甲第一學年 二二、二三月	乙第一學年 二四、二	一八、四月
十八年以上	五	一九	最高	最低	總平均
十九年以上	二五	三四	一七、三	二〇、五	二〇、五
二十年以上	三三	二七	一七、三	二〇、五	二〇、五
廿壹年以上	三四	一七	一七、三	二〇、五	二〇、五
廿二年以上	九	一一	一七、三	二〇、五	二〇、五
廿三年以上	一	一	一七、三	二〇、五	二〇、五
廿四年以上	一	一	一七、三	二〇、五	二〇、五
總計	一〇六	一一二	一七、三	二〇、五	二〇、五

敷地及建物

(明治三十九年四月三十日現在)

本校敷地及建物ハ長崎縣西彼杵郡上長崎村字片淵郷ニ在リ今其ノ坪數ヲ擧クレハ左ノ如シ

- 一 敷地 一一、九九二坪三七
- 二 建物(既成) 一一一三、六七

内譯

本館(教室、事務室、講堂、應用理化學教室等)	木造	二階建	七七八坪〇〇
小使室及湯呑所	木造	平家	二、二五〇
生徒扣所	木造	平家	三二、〇〇
便所	木造	平家	九六、〇〇
附屬廊下	木造	平家	二四、九二
雨天体操場	木造	平家	四八、五〇
	木造	平家	九六、〇〇

銃器室
門衛所

木造 平家 三三、〇〇
木造 平家 三、〇〇

附 錄

長崎高等商業學校學友會則

第一條 本會ノ目的ハ本校生徒身心ノ修養ヲ裨補スルニ在リ

第二條 本會ヲ長崎高等商業學校學友會ト稱ス

第三條 本會ニ左ノ八部ヲ置ク

一 講演部 一 雜誌部 一 ローンテニス部 一 ベースボール部

一 剣道部 一 柔道部 一 弓術部 一 ボート部

第四條 本會ハ左ノ會員ヲ以テ組織ス

一 特別會員 本校職員

一 通常會員 本校生徒

第五條 會員ハ別ニ定ムル所ノ部則ニ從ヒ隨意ニ其ノ部員タルコト

ヲ得但シ講演部及雜誌部ニ於テハ全會員ヲ以テ其ノ部員ト看做ス

第六條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

一 會長 一人 一 副長 一人 一 部長 各部一人

一 理事 二人 一 各部委員 若干人

第七條 會長ハ本校長之ニ當リ本會ヲ統督ス

副長部長理事ハ特別會員中ヨリ會長之ヲ委囑ス

副長ハ會長ヲ補翼シ會務ヲ掌理ス

部長ハ其ノ部ヲ管理ス

理事ハ本會ノ庶務會計ヲ取扱フ

委員ハ各部ニ於テ定數ノ二倍ヲ互撰シ其ノ中ニ就キ會長之ヲ委囑

ス 委員ハ部務ヲ取扱フ

第八條 副長以下ノ役員ハ其ノ任期ヲ一ケ年トシ毎年一月改任ス

但シ再任スルコトヲ得ヘシ

補缺ニ係ル役員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

第九條 本會ノ豫算決算其ノ他重要ナル事項ハ役員會ニ於テ之ヲ審議ス但シ其ノ決議ハ會長ノ認可ヲ經フルニアラサレハ施行スルヲ得ス

役員會ハ副長部長理事委員ヲ以テ之ヲ組織シ副長之レカ議長トナル

役員會ハ必要ニ應シ會長之ヲ召集ス

第十條 本會ハ毎年一回運動會ヲ開ク此ノ場合ニ於テハ臨時役員ヲ設ケ會員中ヨリ會長之ヲ委囑ス

第十一條 本會ノ經費ハ特別會員ノ寄附金通常會員ノ會費及入會金ヲ以テ之ヲ支辨ス但シ必要ニ應シ會費ノ外部費ヲ徴收スルヲアルヘシ

會費部費及入會金ノ額并ニ其ノ徴收法ハ役員會ニ於テ之ヲ議定ス

ヘシ

第十二條 本會ノ會計年度ハ一月ニ始リ其ノ年十二月ニ終ル

第十三條 本會ノ豫算案ハ前年度ノ終ニ於テ各部ヨリ豫定經費調書ヲ徴シ副長之ヲ編成ス

第十四條 本會ノ收支決算ハ次年度ノ始ニ於テ理事之ヲ報告ス

第十五條 各部ハ會長ノ認可ヲ得テ其部則ヲ定ムルヲ得

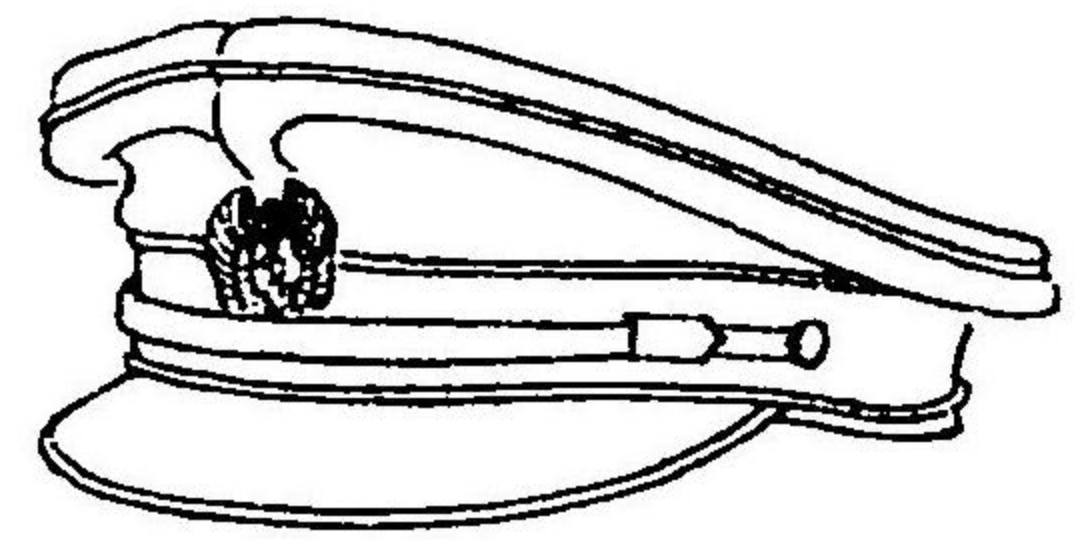
第十六條 會員ニシテ會則改訂ノ意見アル者ハ其ノ意見ヲ所屬部ニ提出スルヲ得

各部ニ於テ會則ノ改訂ヲ要スト認ムルキハ案ヲ具ヘ之ヲ役員會ニ提出スルヲ得

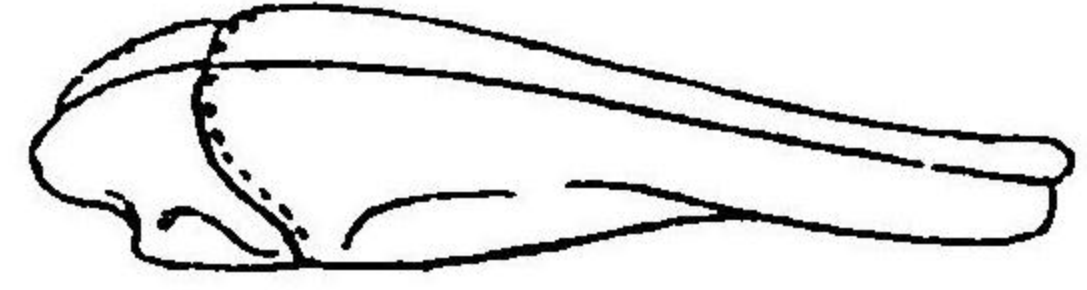
3/41

制服圖

制帽



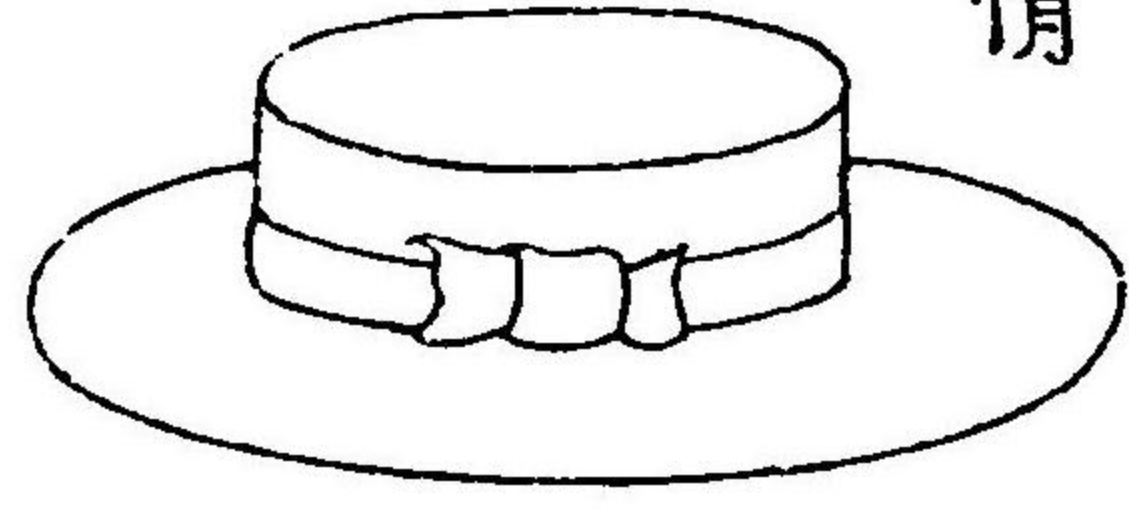
日履



徽章



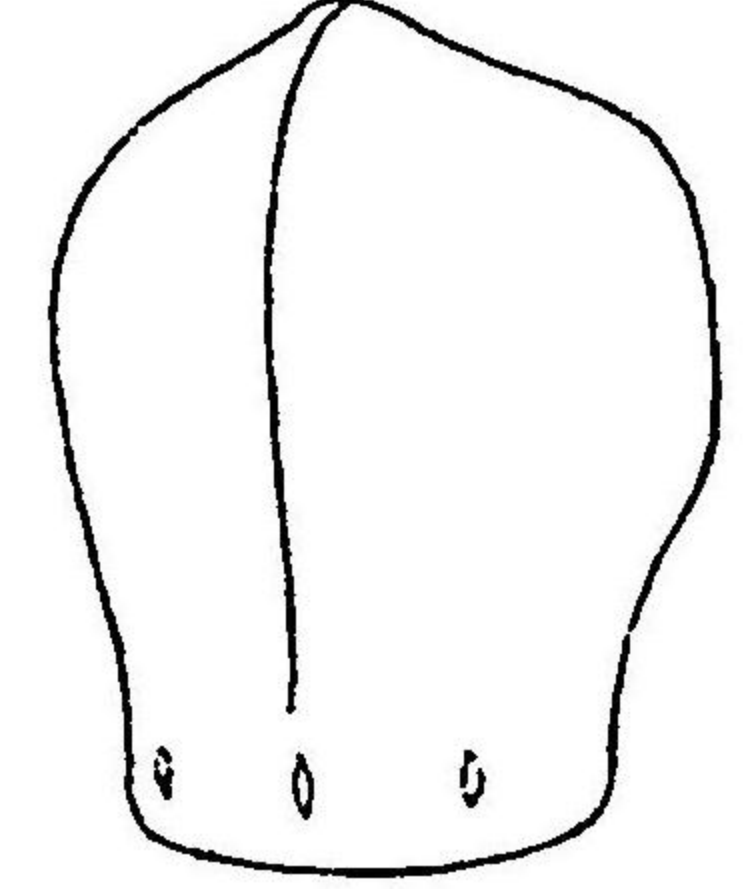
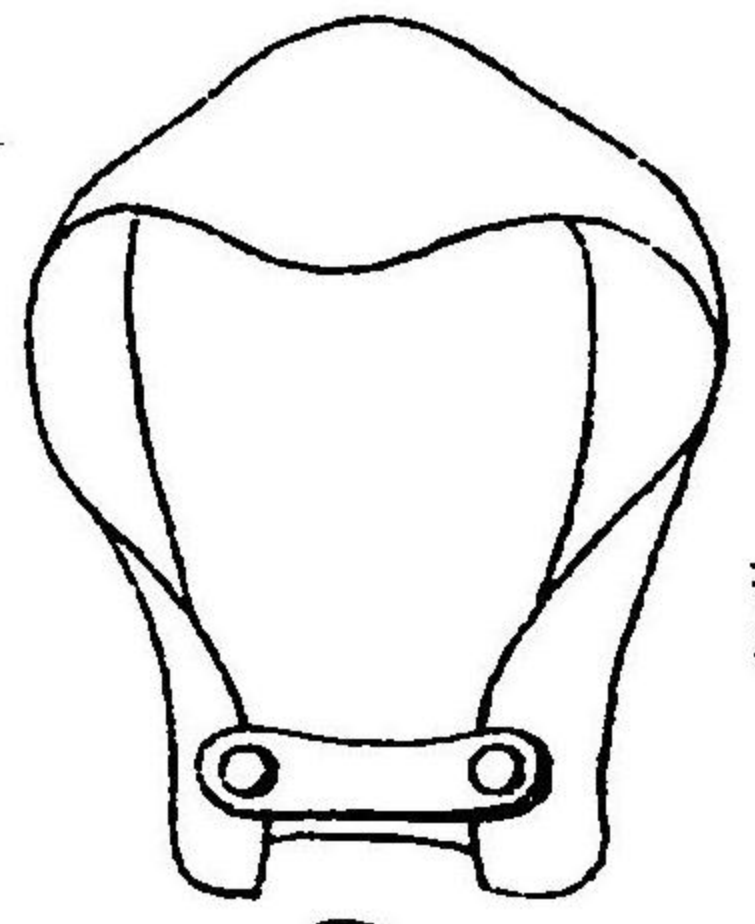
畧帽



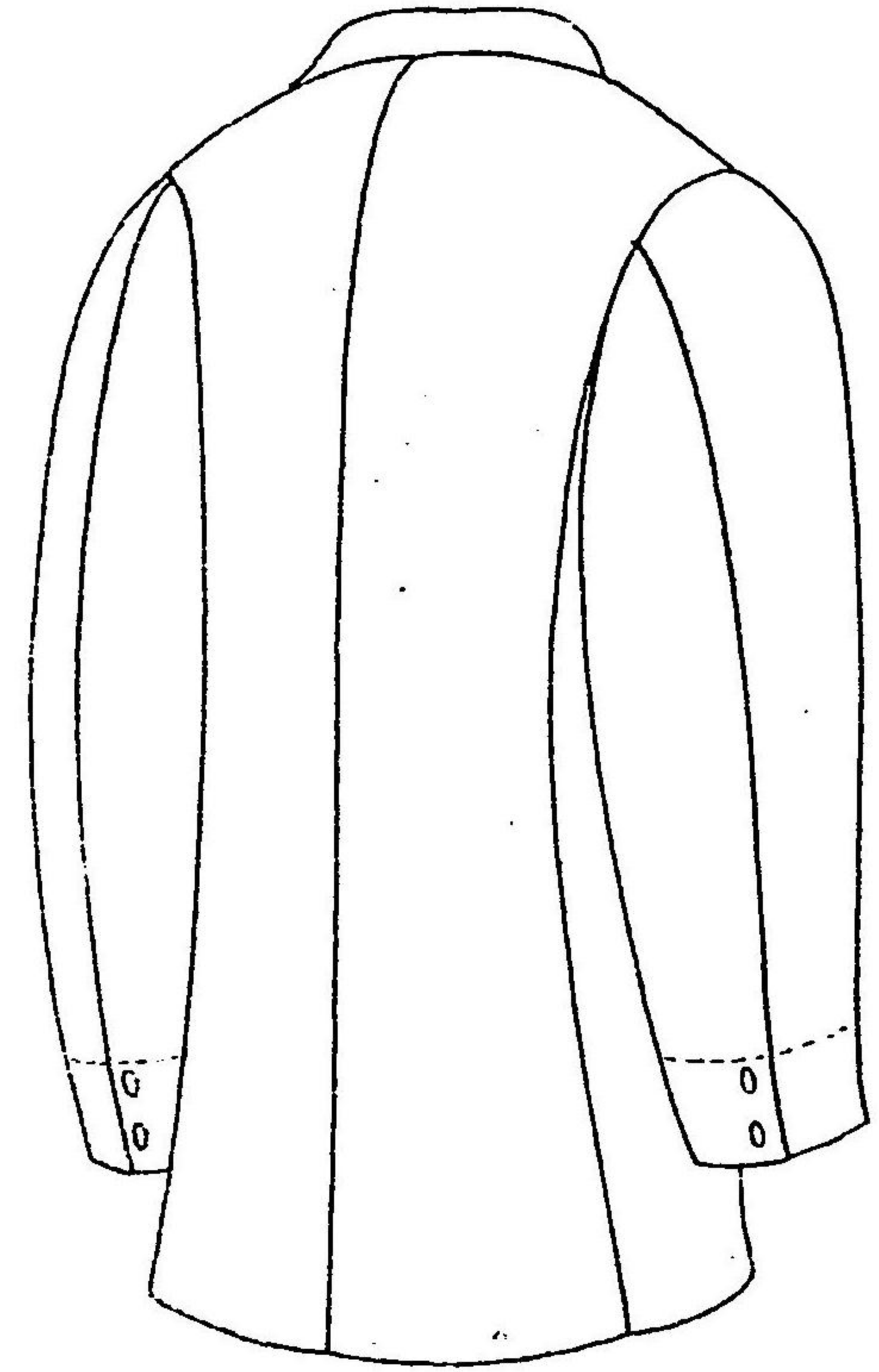
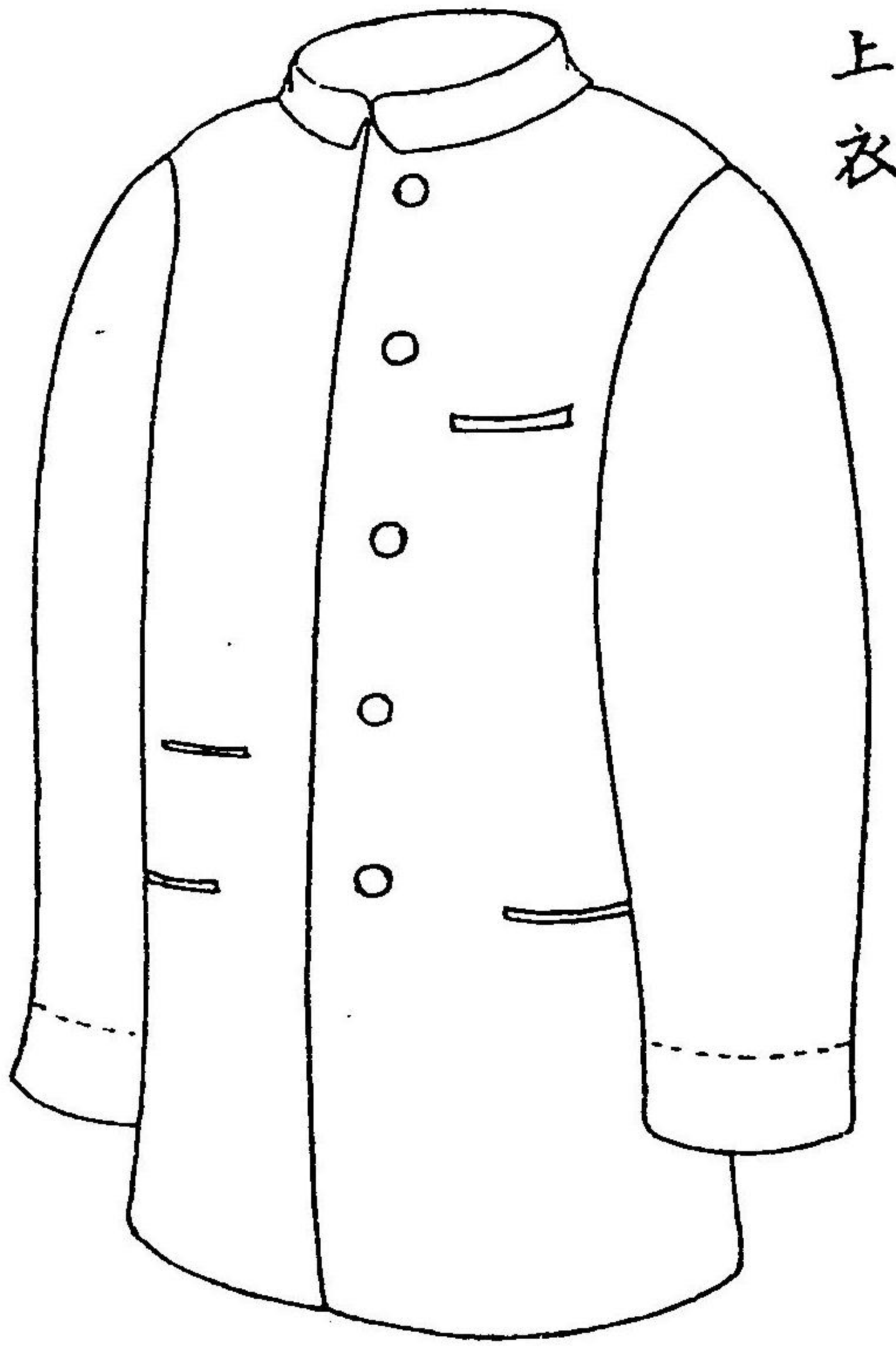
鈕釦



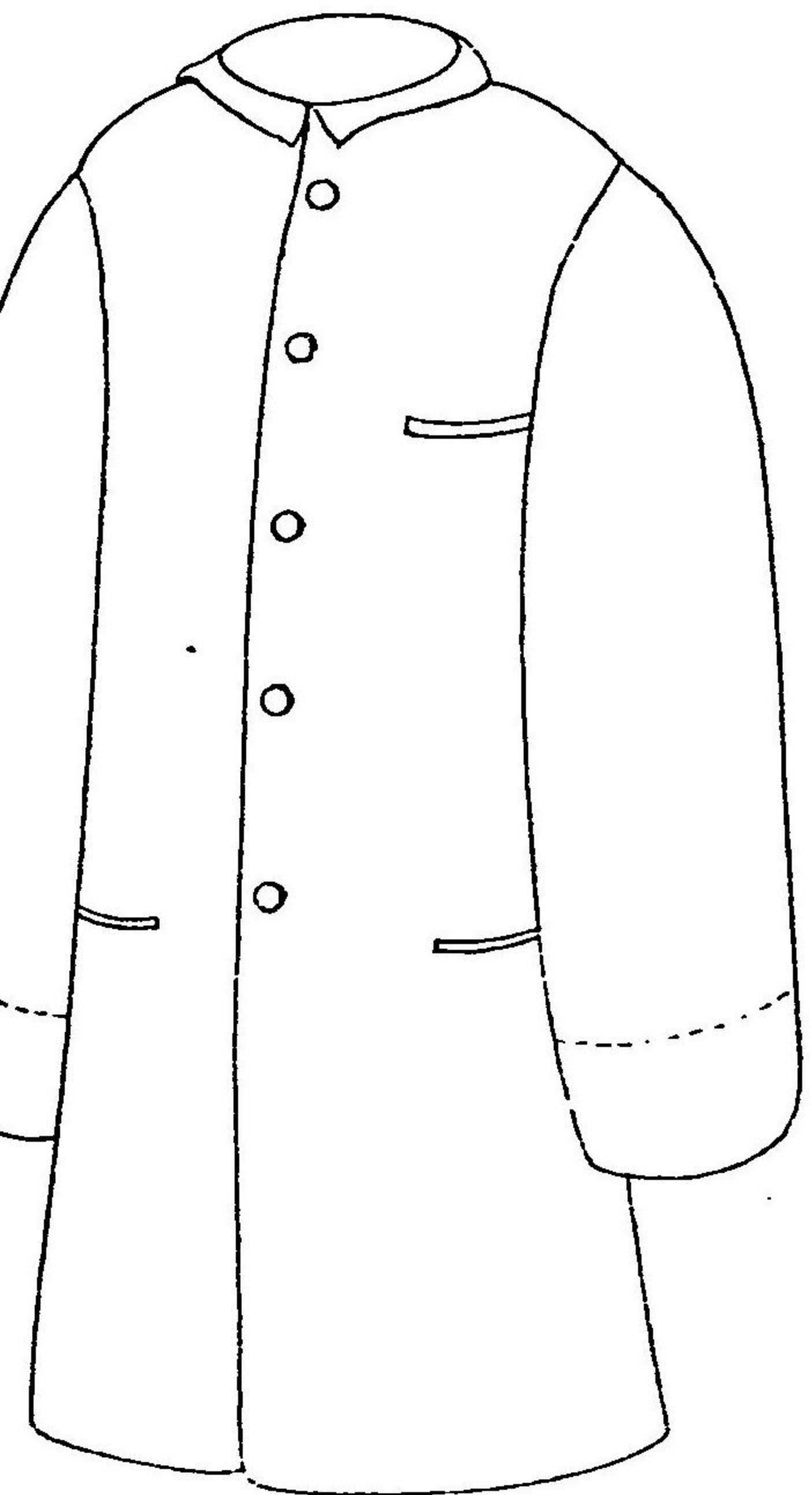
頭巾



上衣



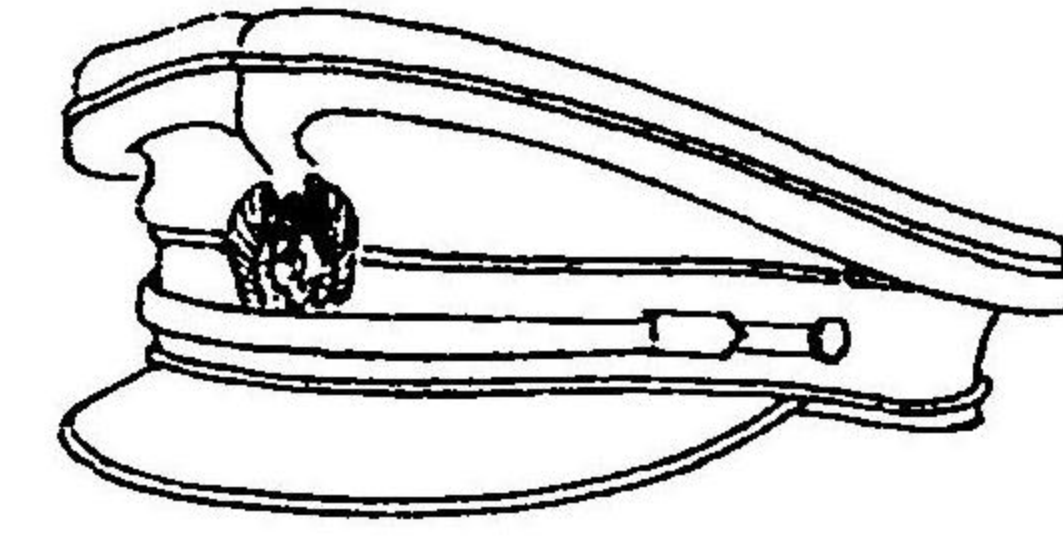
袴



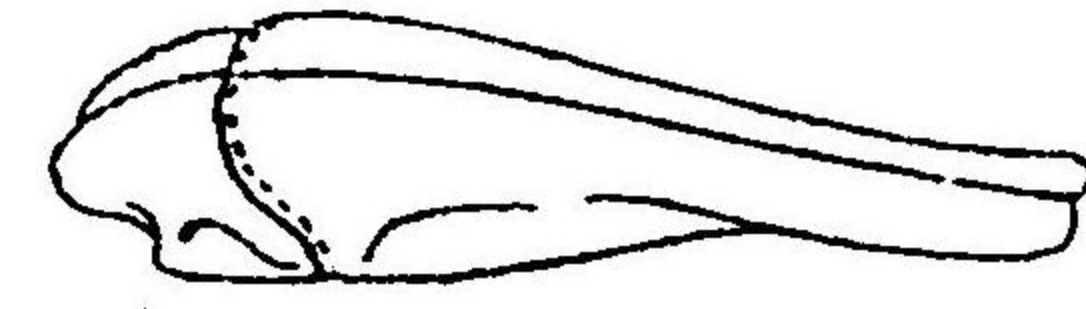
3/41

制服圖

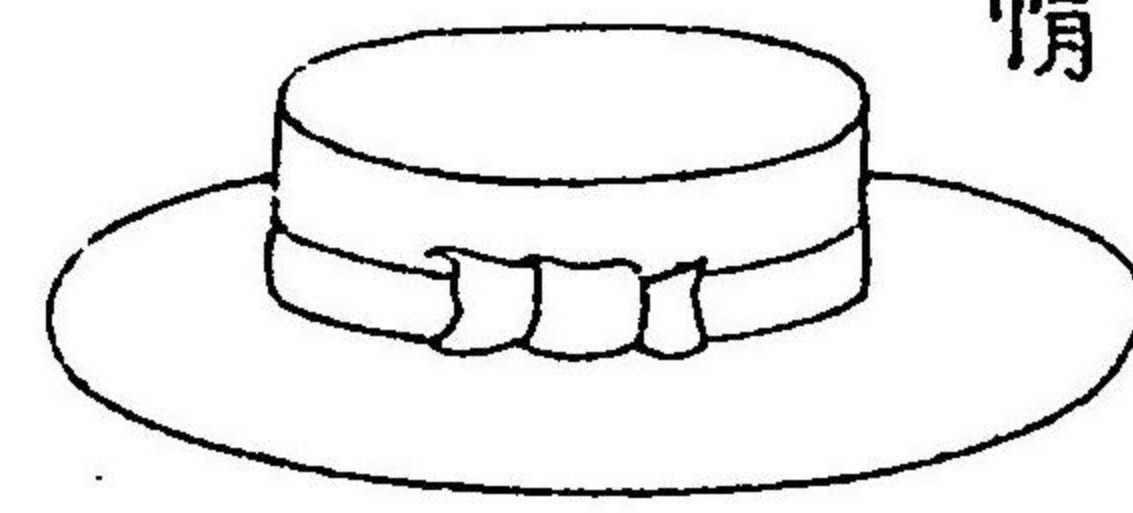
制帽



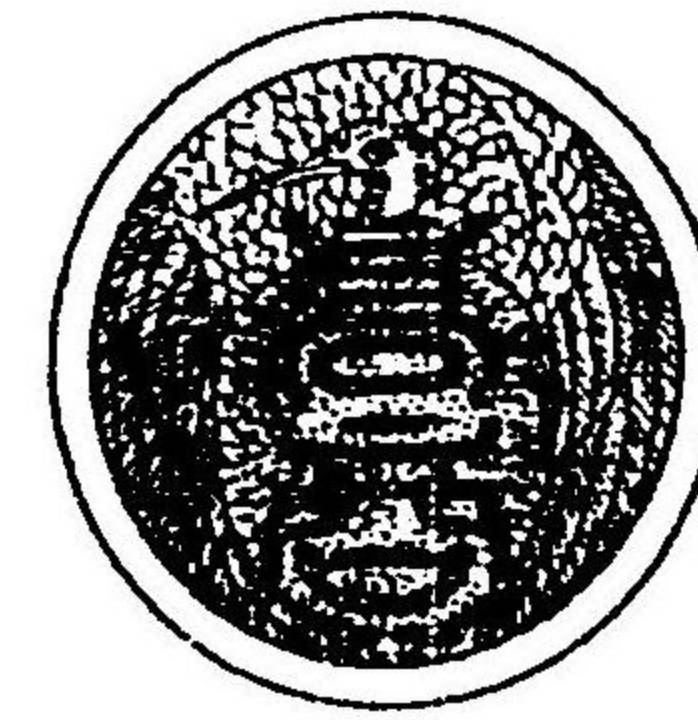
日覆



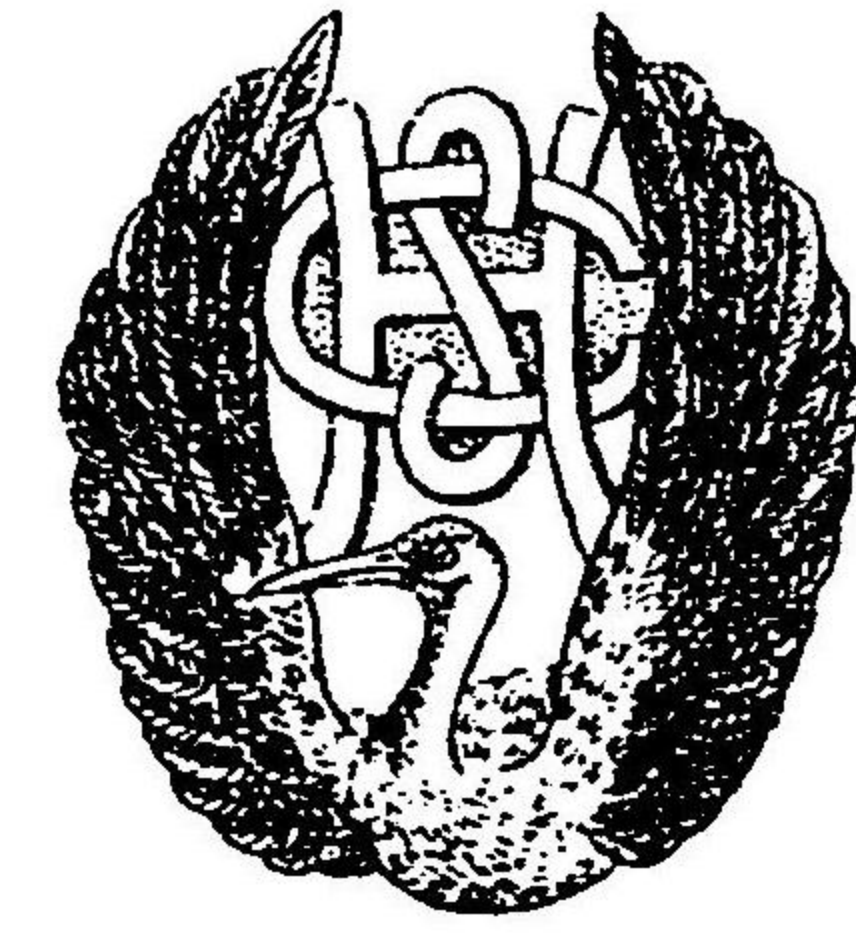
畧帽



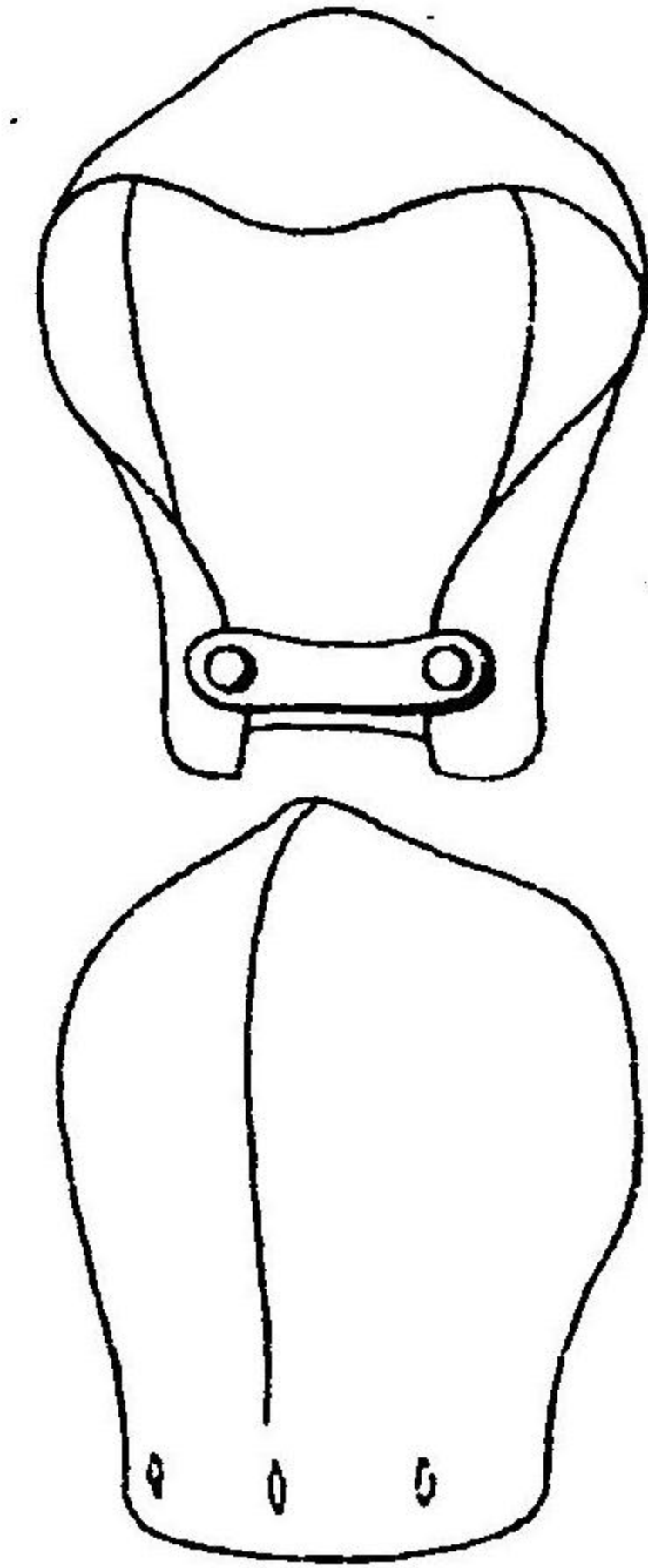
鈕釦



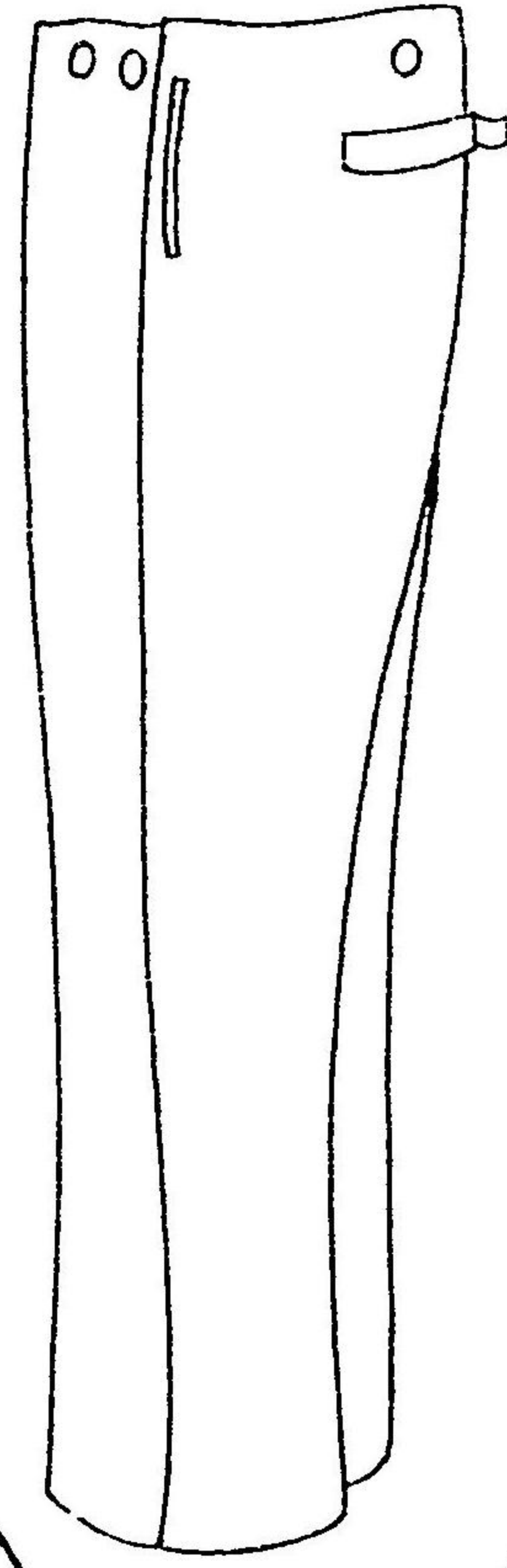
徽章



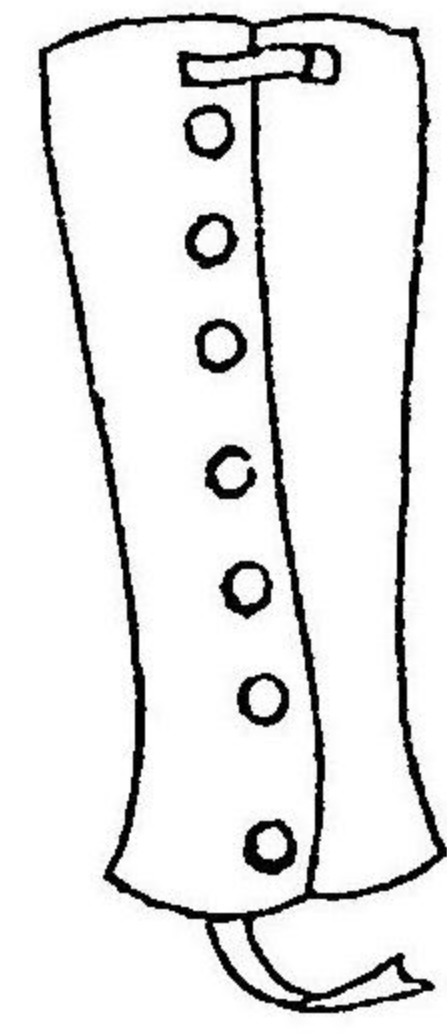
頭巾



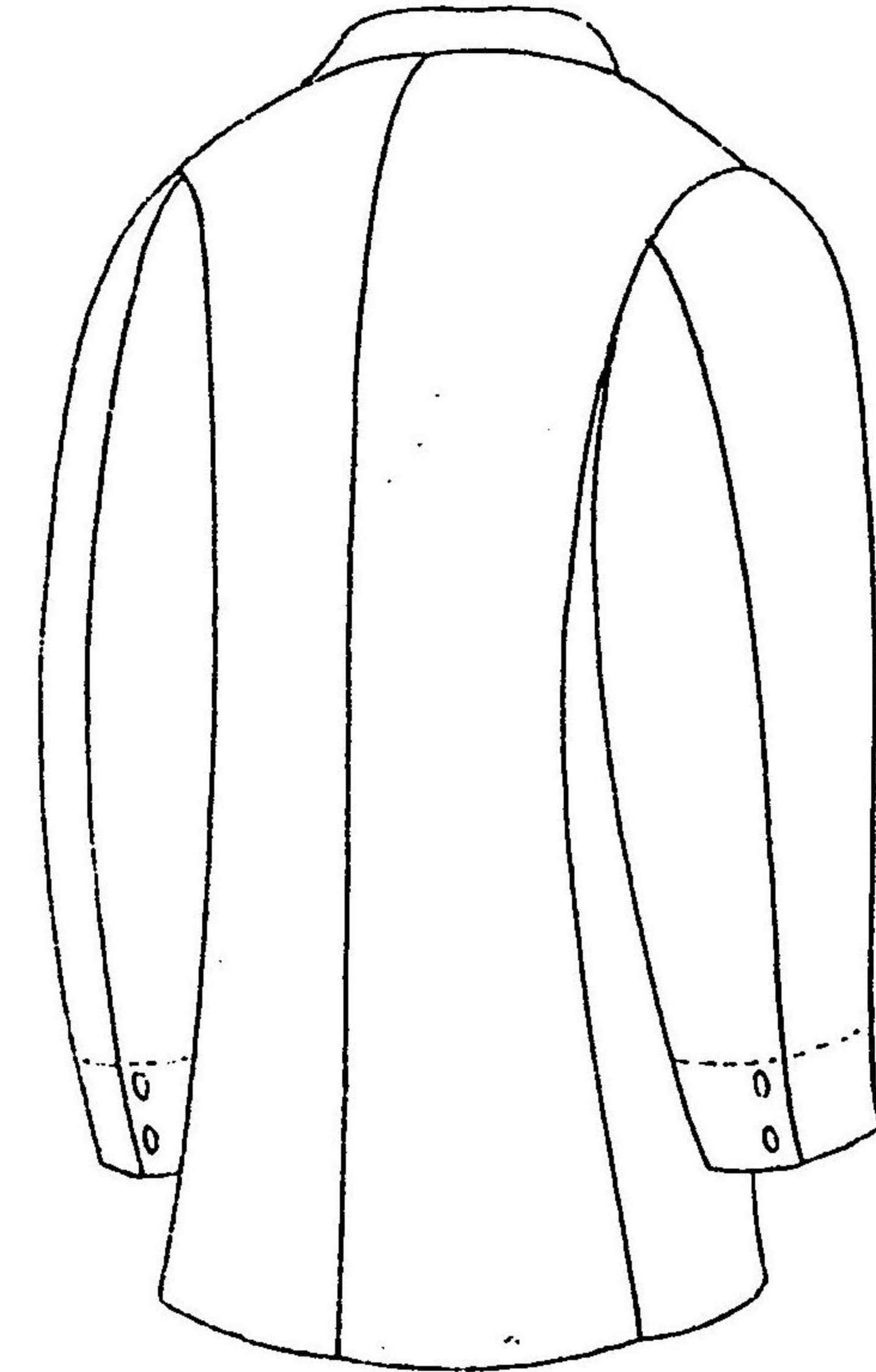
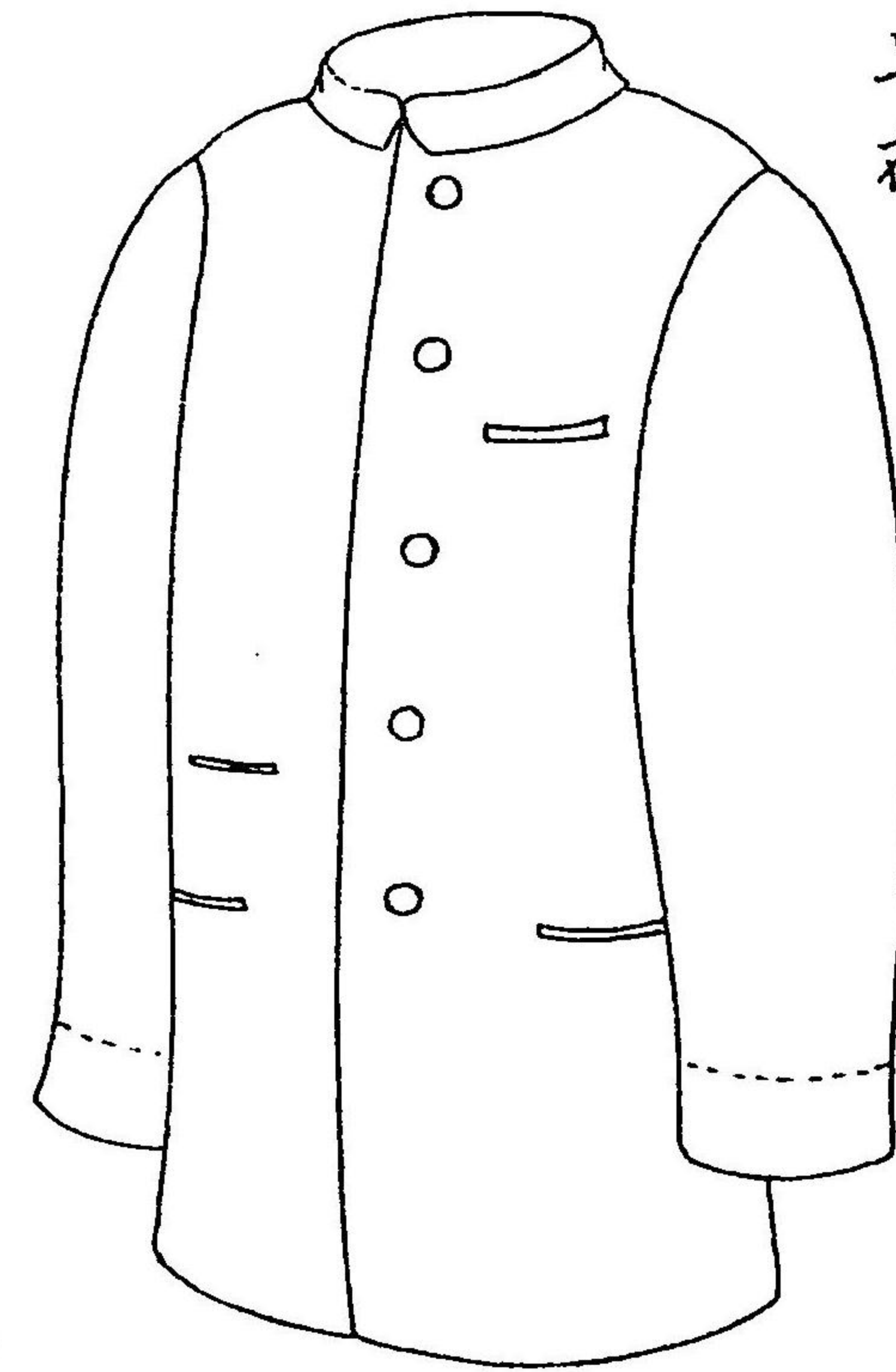
袴



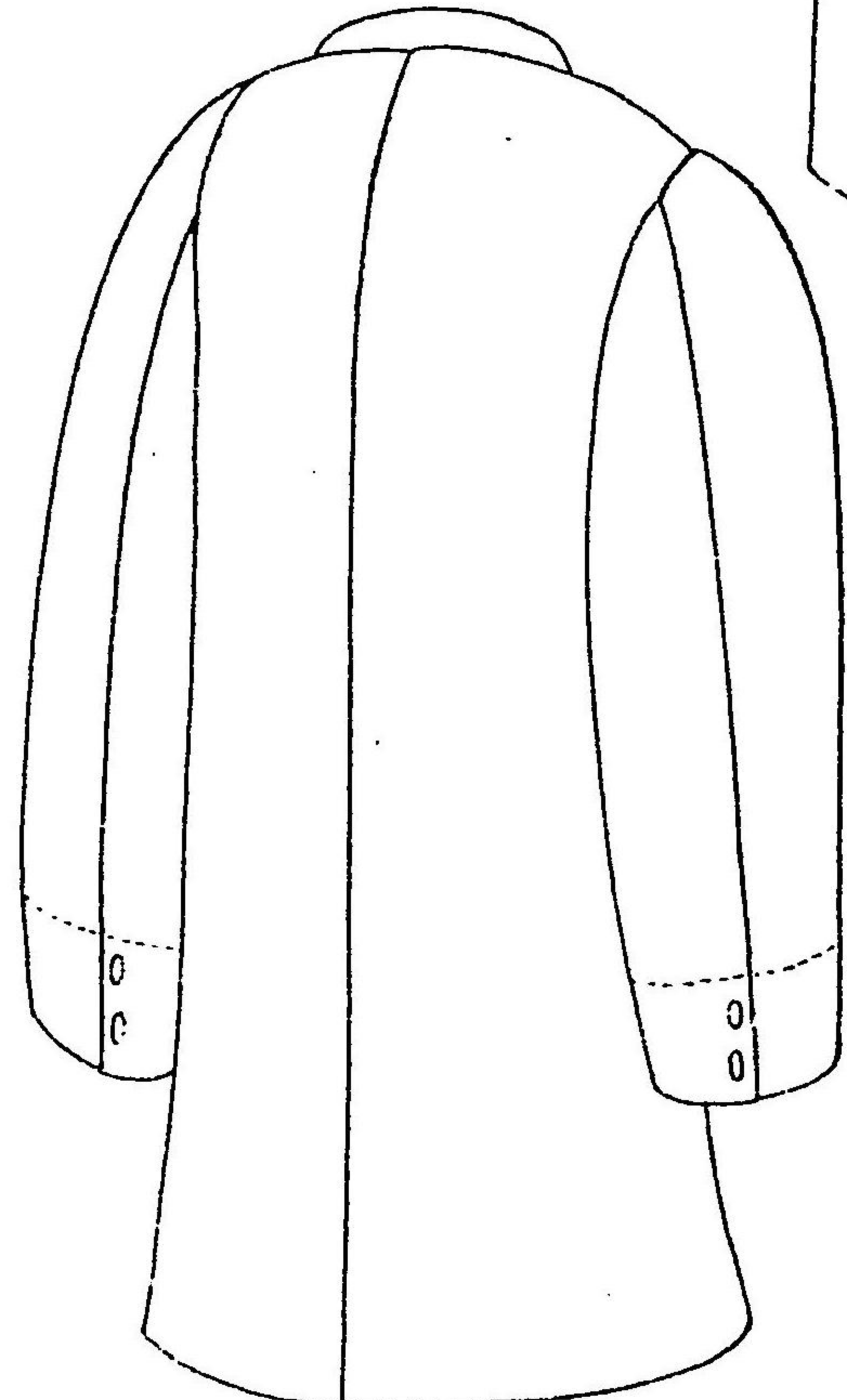
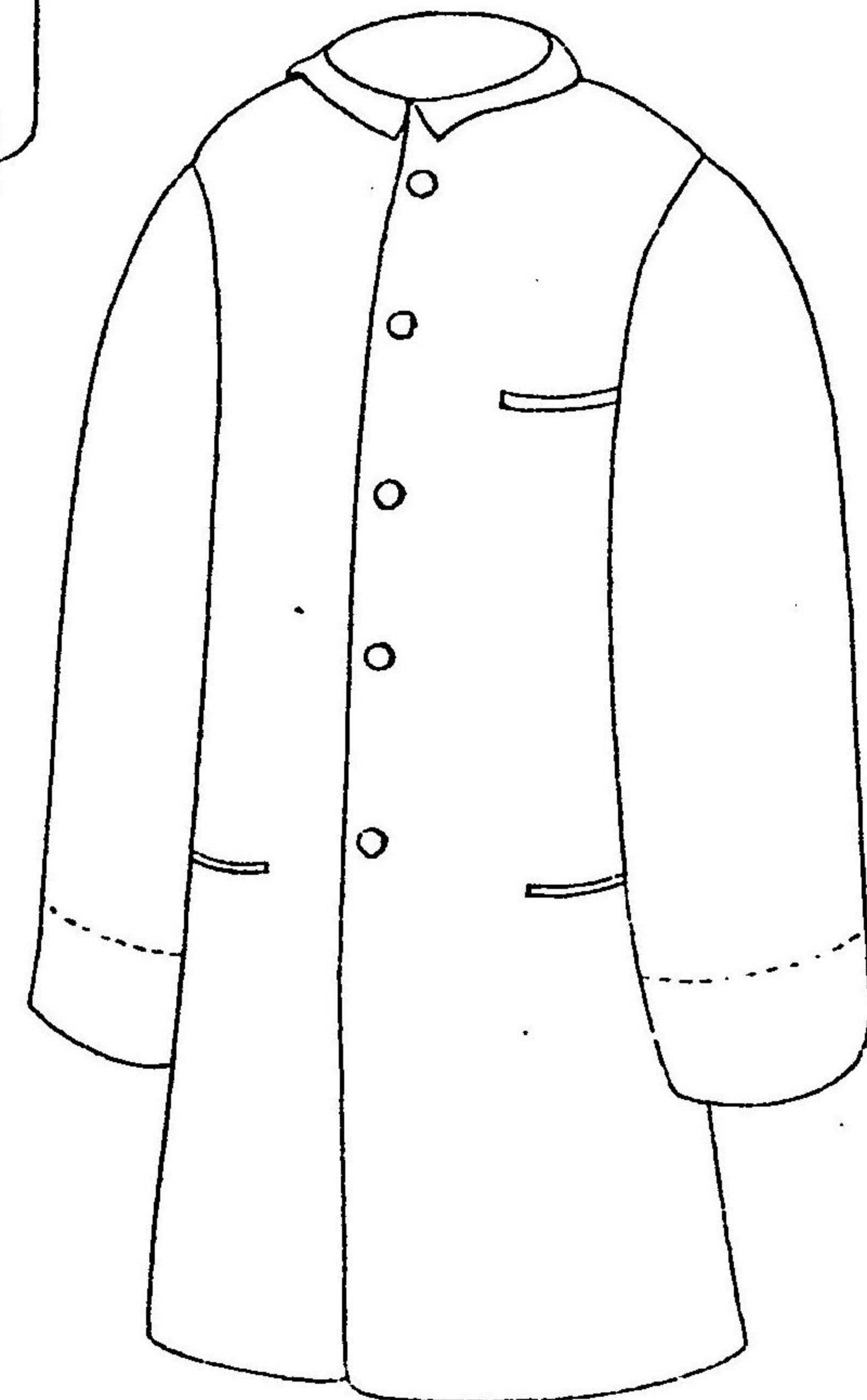
脚絆



上衣



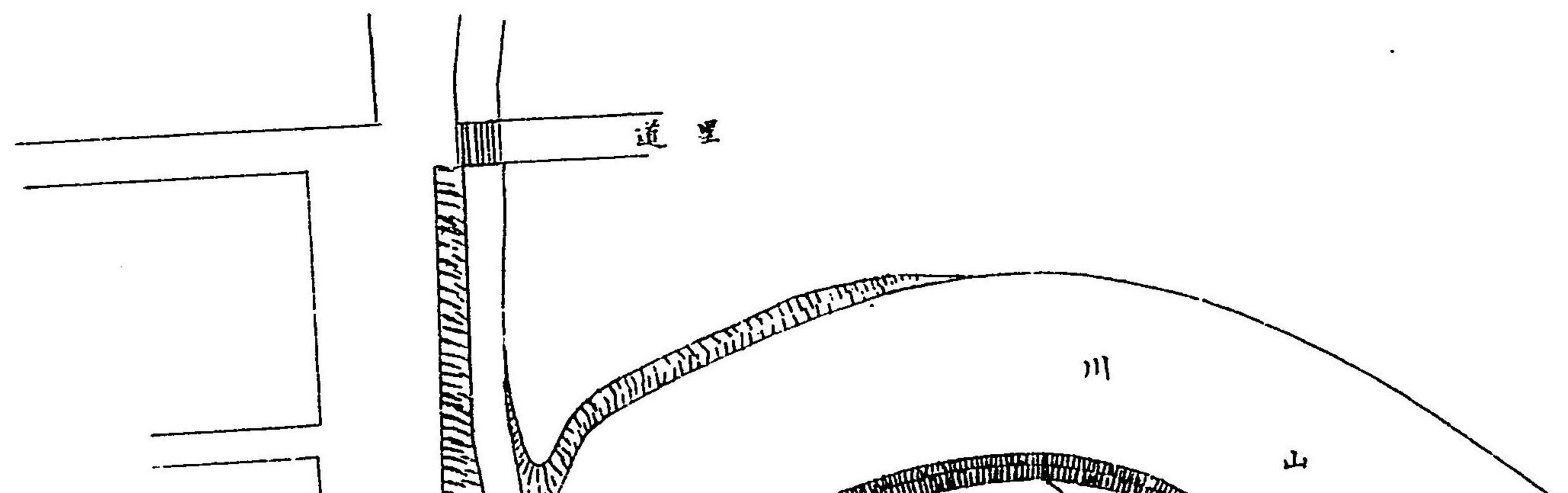
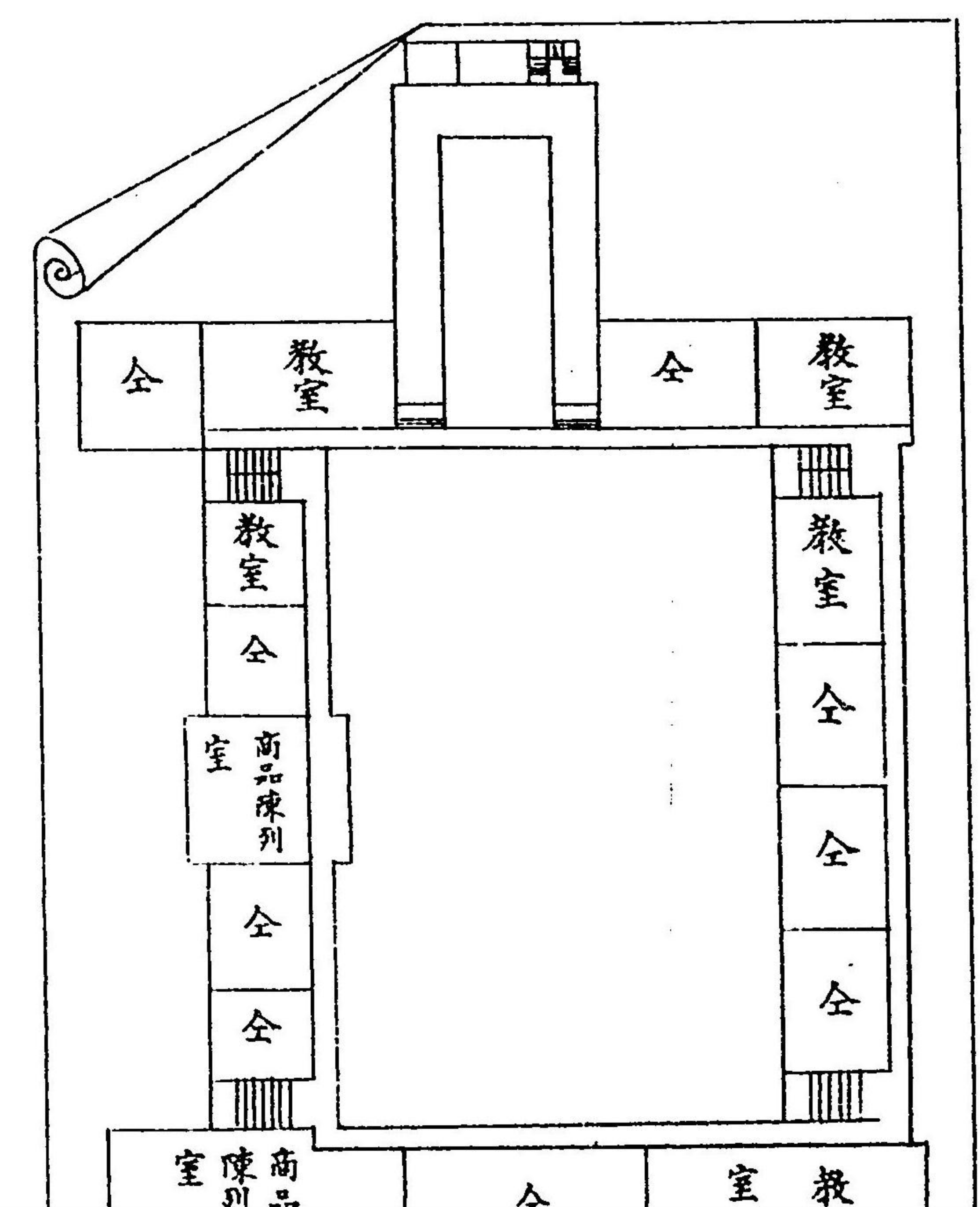
外套

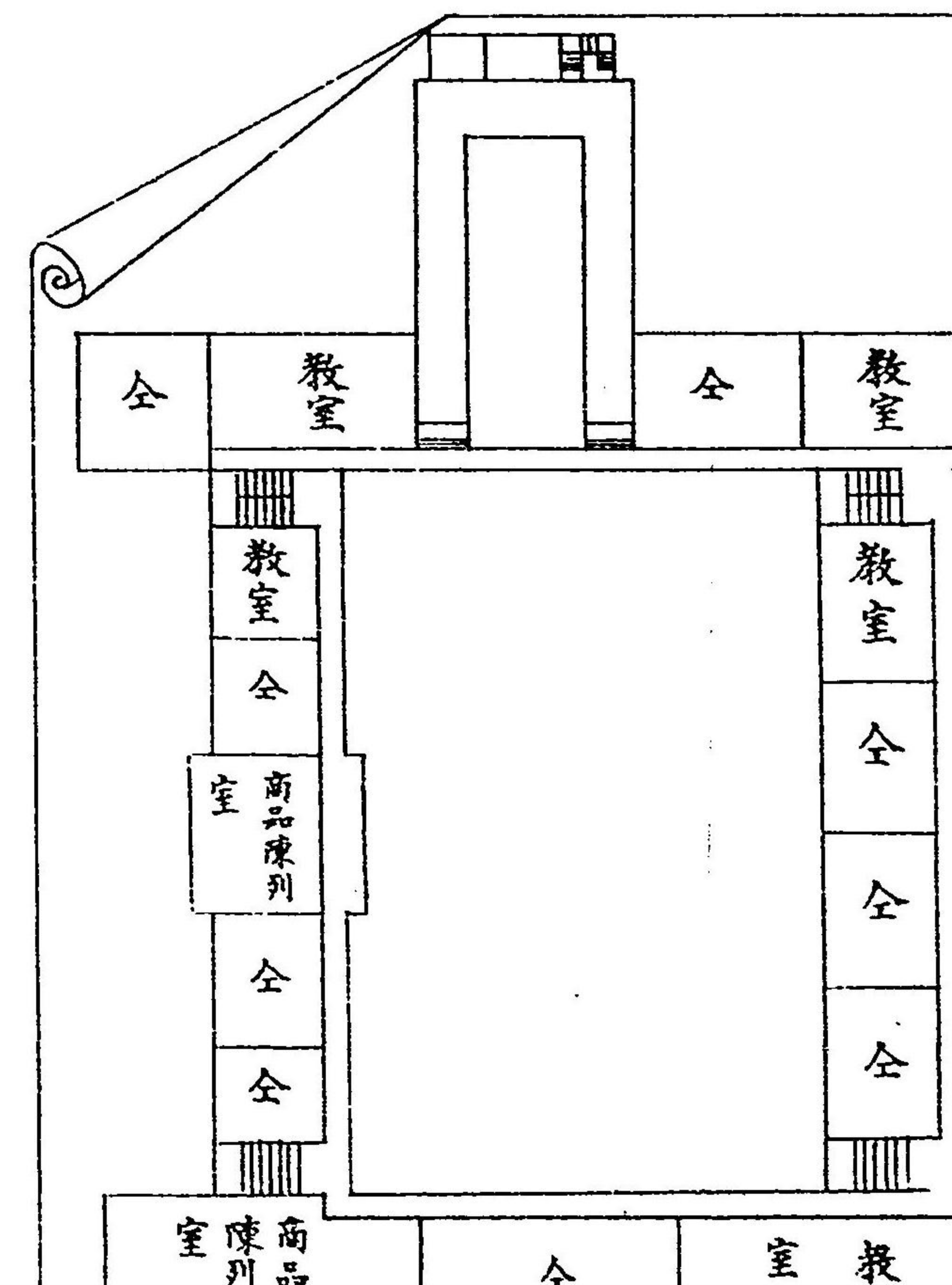
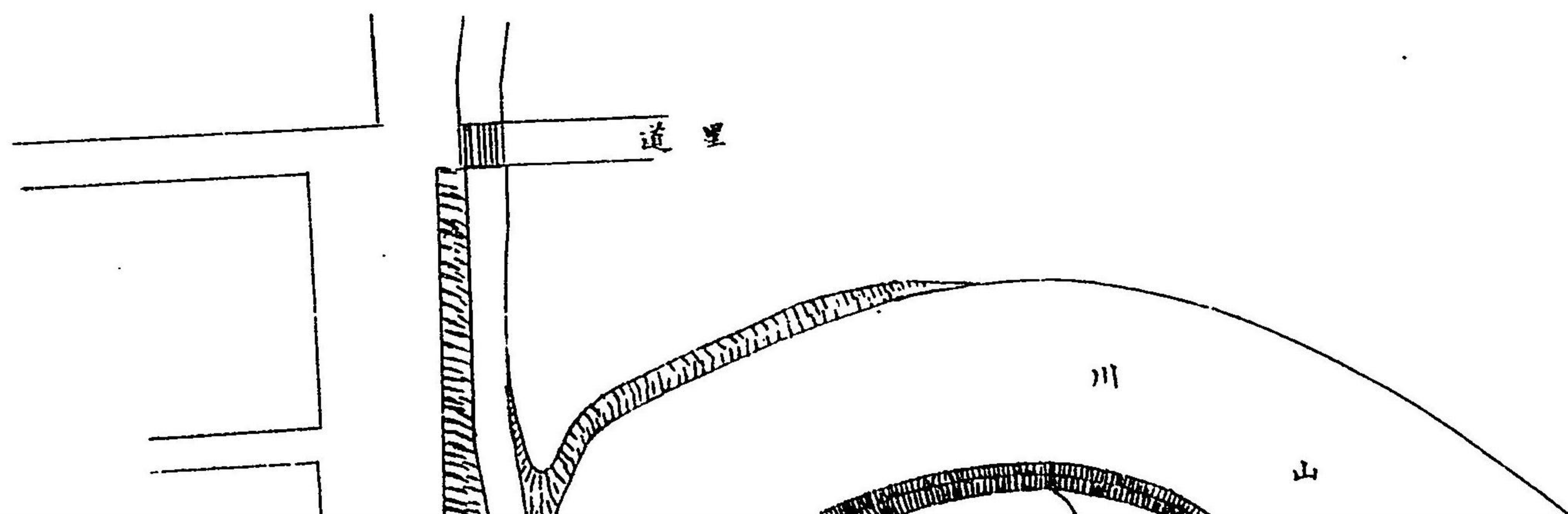
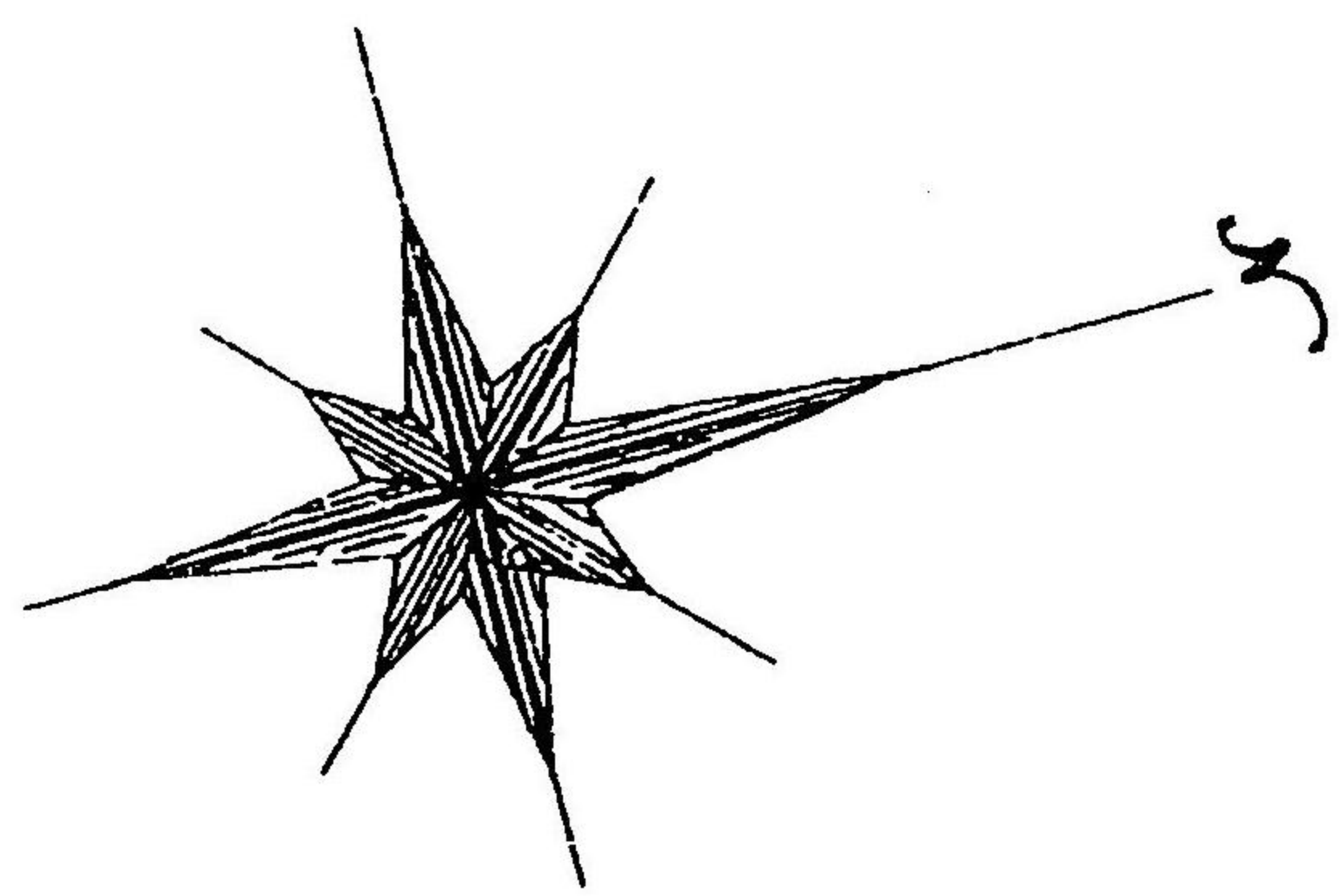


長崎高等商業學校之圖

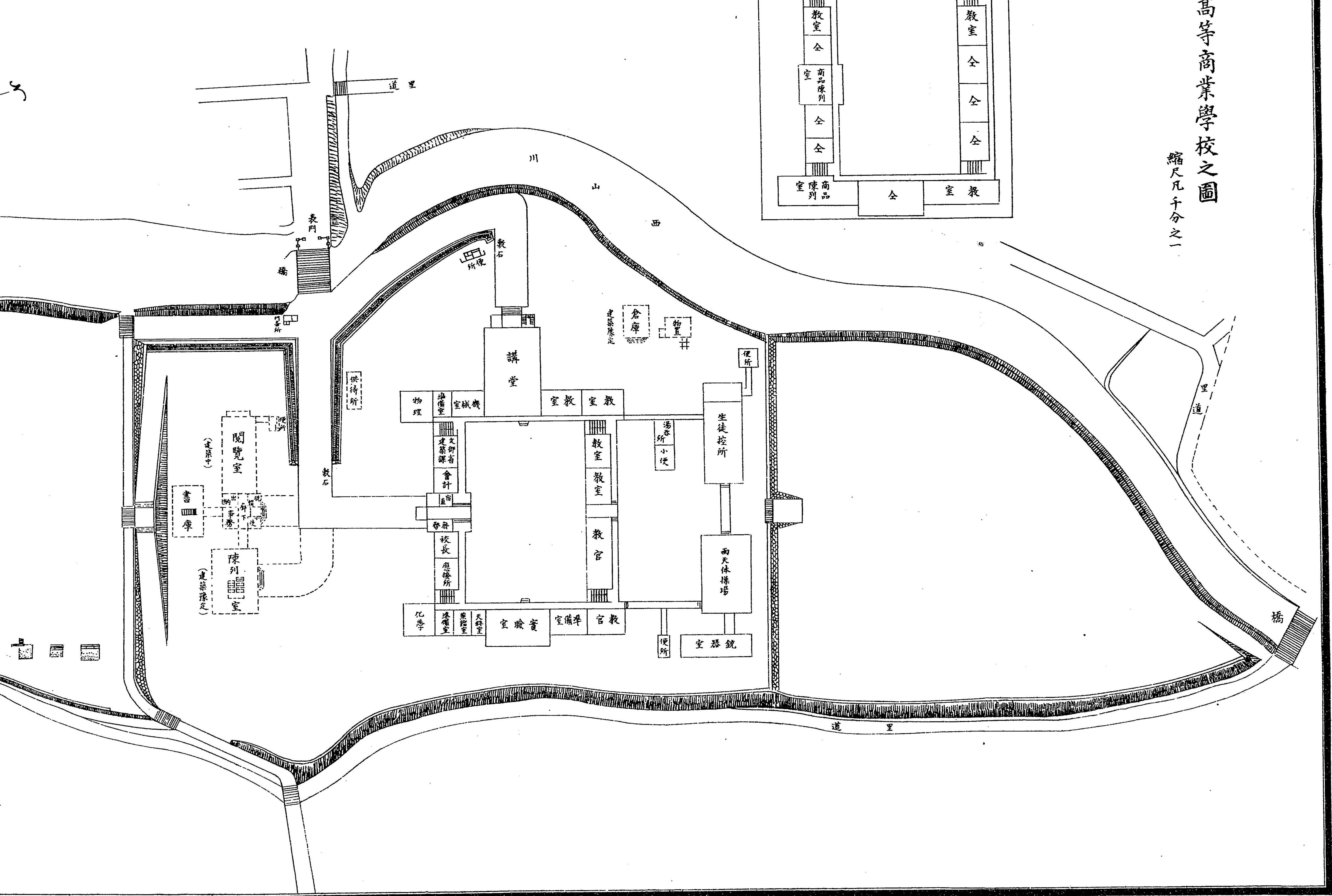
縮尺凡

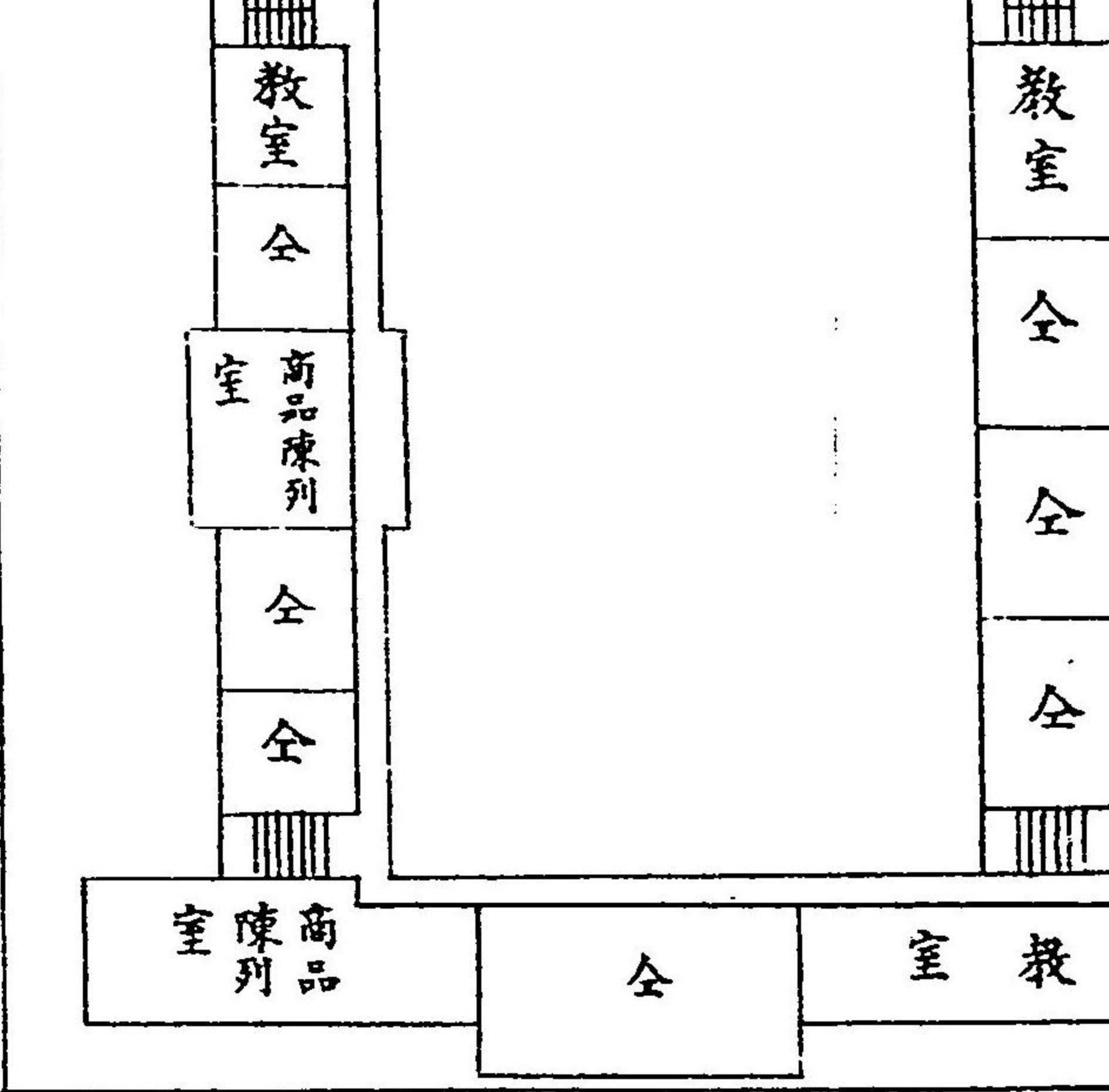
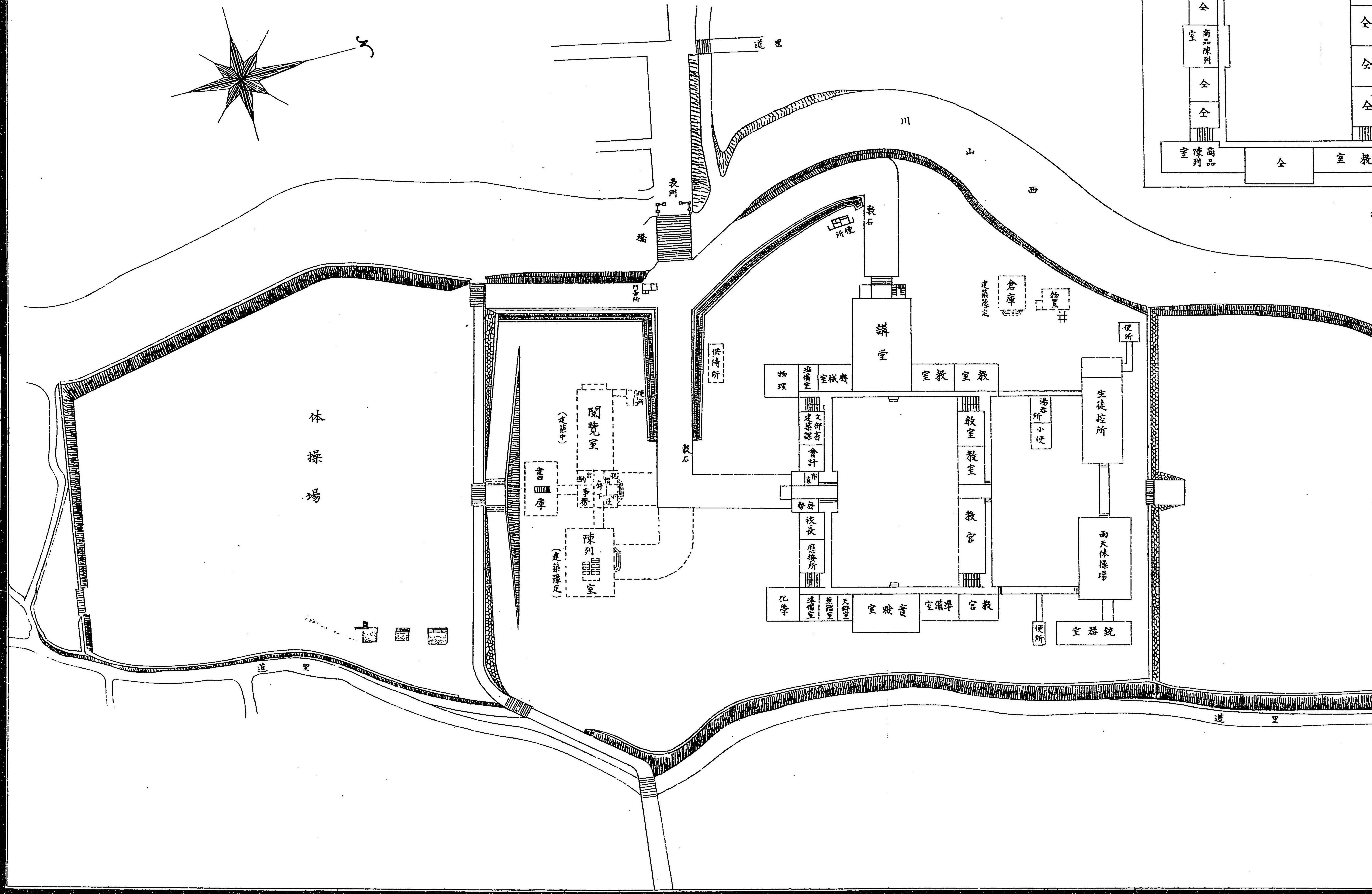
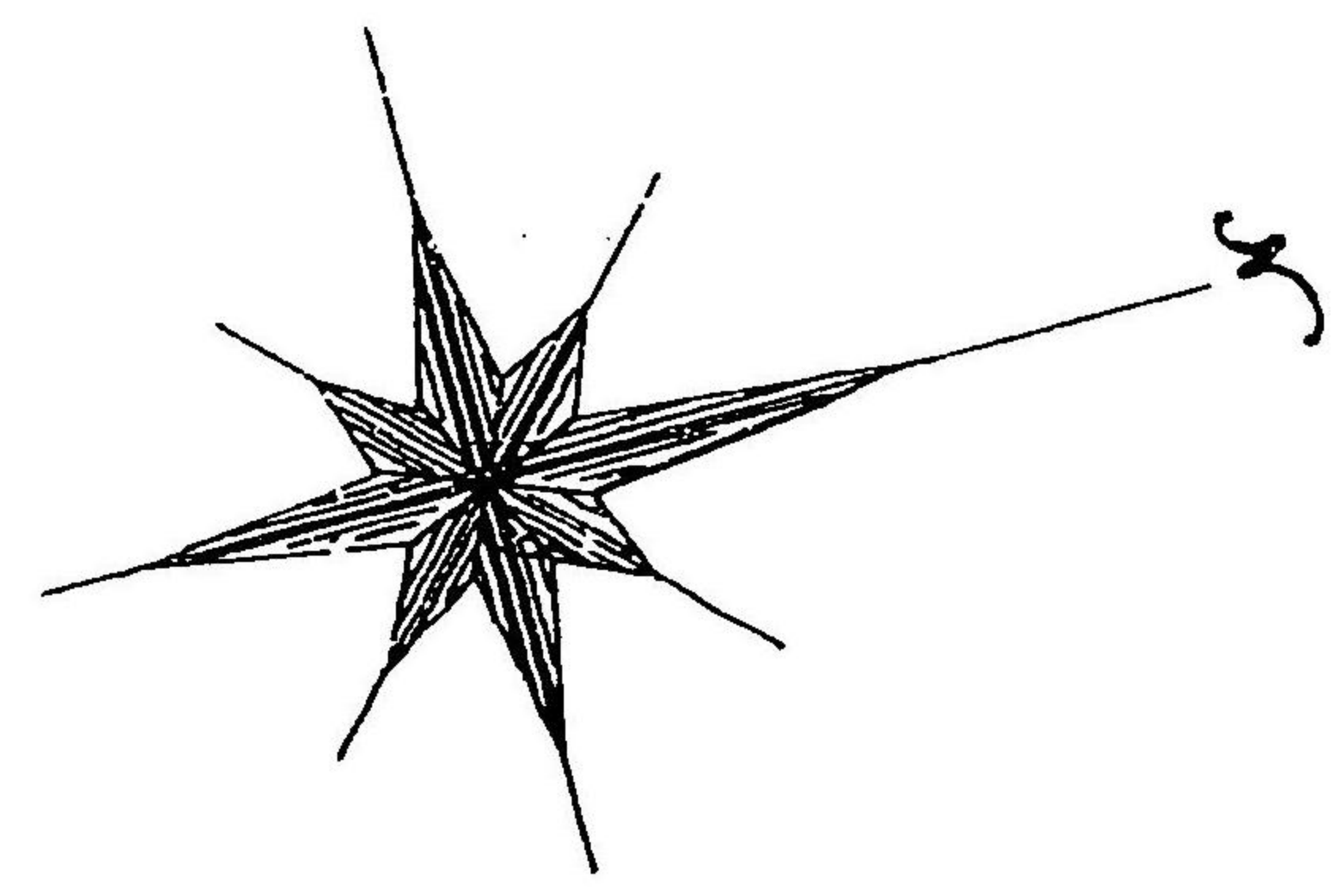
二階





高等商業學校之圖
縮尺凡千分之一





293
16

明治三十九年六月二十三日印刷
明治三十九年六月二十五日發行

編纂發行者

長崎高等商業學校

長崎縣西彼杵郡上長崎村字片淵

印刷者

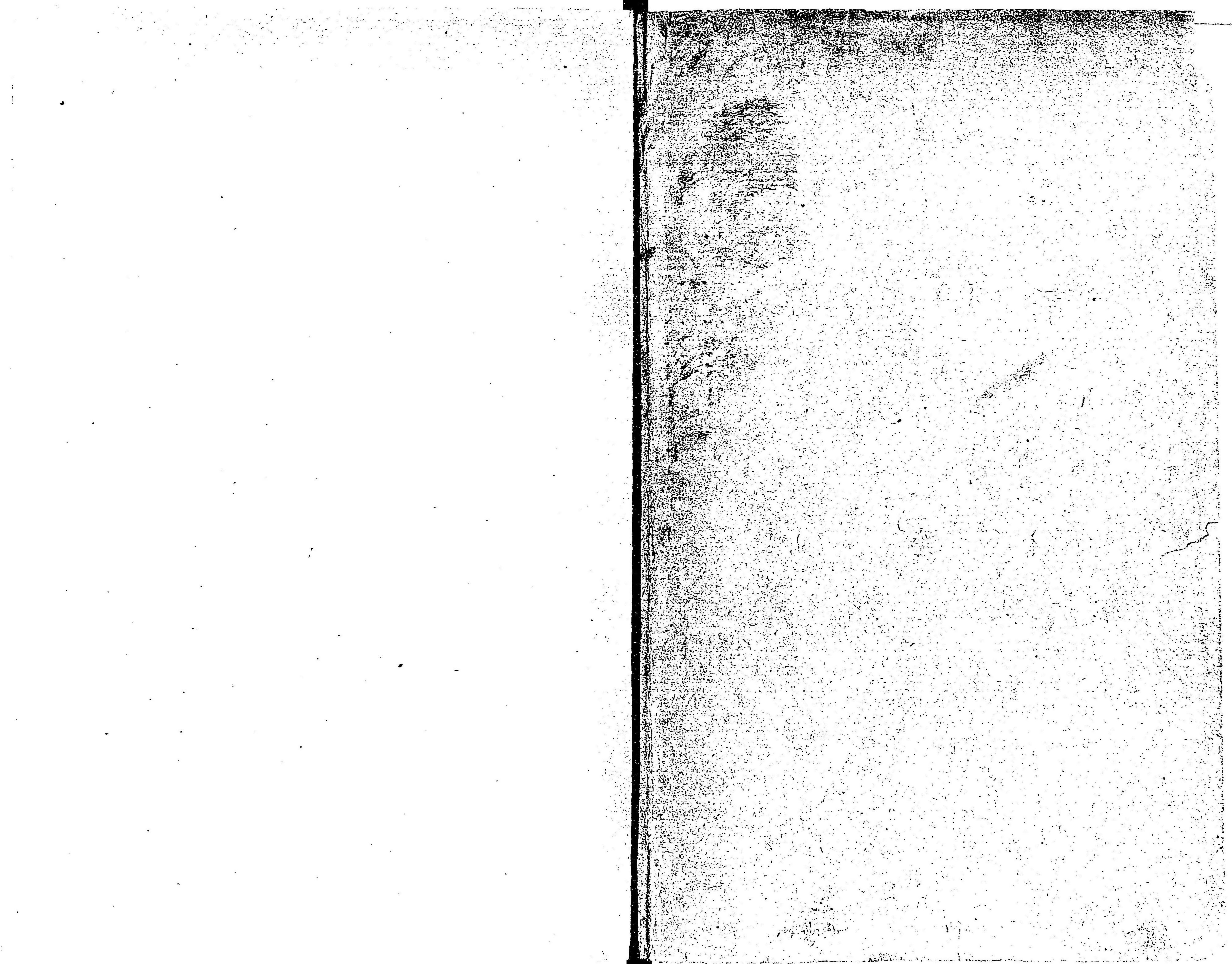
朝川官十郎

長崎市今鍛冶屋町三十三番地

印刷所

重誠舎

長崎市今鍛冶屋町三十三番地



293
別庫
16

